

室蘭工業大学
令和6年度 企業アンケート

集計結果報告書
令和6年 11月

目次

I. 調査の概要.....	5
II. 調査結果の要約.....	7
III. 調査集計結果.....	10
1. 卒業生採用企業等の人材ニーズや期待への対応度.....	10
2. 卒業者の能力や意識の水準についての認識.....	12
3. 本学の就職支援活動についての印象.....	14
4. 今後の本学卒業者に対する求人・採用意欲.....	16
5. 本学卒業者の採用理由.....	18
6-1. 本学の学部卒業者の雇用人数.....	20
6-2. 本学の学部卒業者の該当する学科.....	20
6-3. 本学の学部卒業生の職種.....	22
6-4. 本学の大学院博士前期課程(修士課程)修了者の雇用人数.....	24
6-5. 本学の大学院博士前期課程(修士課程)修了者の該当する専攻.....	24
6-6. 本学の大学院博士前期課程(修士課程)修了者の職種.....	26
6-7. 本学の大学院博士後期課程修了者の雇用人数.....	28
6-8. 本学の大学院博士後期課程修了者の該当する専攻.....	28
6-9. 本学の大学院博士後期課程修了者の職種.....	30
8. 教育目標に関連して、本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想.....	31
9. 本学の学生への教育活動についての印象.....	36
10. 今後、本学に希望する教育内容.....	38
11. 本学全般についてのご意見、ご要望(自由記述).....	39

※設問 NO.7.は欠番

I. 調査の概要

①実施時期：令和 6 年 8 月 1 日（木）～ 令和 6 年 9 月 27 日（金）

②対象：令和 3 年・令和 4 年・令和 5 年度卒業生の就職企業等 <<825 社>>

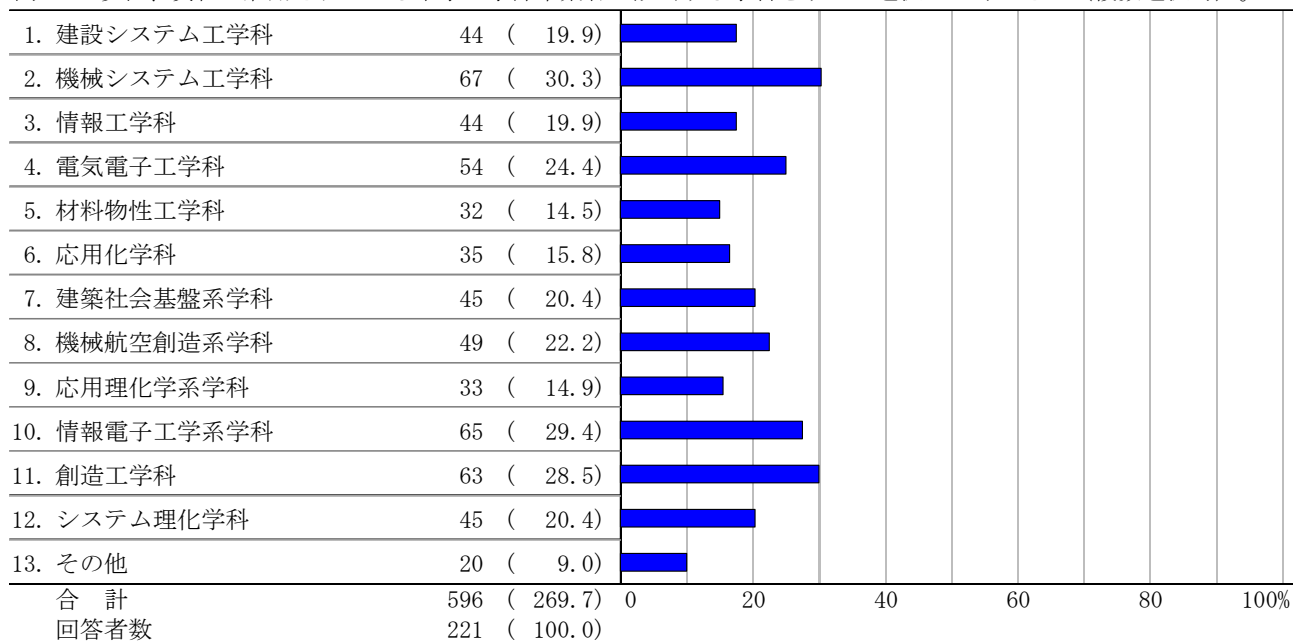
③回答・回収状況：248 社（回収率：30.1%）

※<参考> 前回令和 3 年度調査では配布 796 社/回答 249 社（回収率：31.7%）

⑤集計・分析にあたっての回答企業等の処理：

本調査では回答企業の評価を学科別に分析することを目的に、一企業で例えば「建設システム工学科」と「機械システム工学科」について雇用実績があれば2社という扱いにし、「建設システム工学科」と「機械システム工学科」卒業生の印象などに反映させる方式をとっている。
したがって、分析・報告にあたっての母数は下図表の合計〔596〕社で各種クロス集計などを行っている。

問6-2. 現在、貴社に雇用されている本学の学部卒業生の該当する学科をすべて選択してください（複数選択可）。



⑥回答企業の県別分布



II. 調査結果の要約

1. 卒業生採用企業等の人材ニーズや期待への対応度

本学卒業者が企業等の人材ニーズや期待に思っているかとの設問に対して、全体として「十分応えている」76.7%、「どちらかといえば応えている」19.3%を合わせた肯定的回答の合計は96.0%となっている。

2. 卒業者の能力や意識の水準についての認識

卒業者の能力や意識の水準について、「全体として高いと感じる」56.0%、「どちらかといえば高いと感じる」37.1%を合わせた肯定的回答は全体として93.1%。

3. 本学の就職支援活動についての印象

本学の就職支援活動について、「全体として熱心だと感じる」38.8%、「どちらかといえば熱心だと感じる」43.3%を合わせた肯定的回答は全体として82.0%。

4. 今後の本学卒業者に対する求人・採用意欲

本学卒業者について「今後も積極的に求人・採用していきたい」と回答した企業等は全体として90.4%。

5. 本学卒業者の採用理由

本学卒業者の採用理由について、全体としての上位3項目は高い順に「専門分野が当社に合致しているから」69.3%、次いで「過去の卒業生の実績が認められるから」68.6%、「基礎学力があり、延びる人材である点」68.0%となっている。

6-1. 本学の学部卒業者の雇用人数

6-2. 本学の学部卒業者の該当する学科

回答企業が雇用している本学の学部卒業者の人数については、全体としてみれば「5人以上」が72.5%、「10人以上」が41.6%となっている。

該当する学科については本文図表を参照いただきたい

6-3. 本学の学部卒業生の職種

学部卒業者に関して、全体としては技術職が86.9%、次いで総合職32.6%、研究職14.8%、営業職11.7%、事務職7.7%となっている。

6-4. 本学の大学院博士前期課程(修士課程)修了者の雇用人数

6-5. 本学の大学院博士前期課程(修士課程)修了者の該当する専攻

回答企業が雇用している本学の大学院博士前期課程(修士課程)卒業生の人数については、全体としてみれば「5人以上」が51.4%となっている。

該当する専攻については本文図表を参照いただきたい。

6-6. 本学の大学院博士前期課程(修士課程)修了者の職種

修士課程修了者の職種に関して、全体として高い順に技術職が 85.7%、次いで総合職 29.9%、研究職 25.2%、営業職 3.4%、事務職 1.0%となっている。

6-7. 本学の大学院博士後期課程修了者の雇用人数

6-8. 本学の大学院博士後期課程修了者の該当する専攻

大学院博士後期課程修了者の雇用があるのは 16 社。内 13 社が一人と回答している。該当する専攻については本文図表を参照いただきたい。

6-9. 本学の大学院博士後期課程修了者の職種

本文図表を参照いただきたい。

8. 教育目標に関連して、本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想

学部卒業生全体で、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた肯定的意見の割合を見てみると、11 項目中以下の 4 項目を除く 7 項目が 90%以上の高い肯定割合となっている。

- ・「職場でリーダーシップを発揮したり、部下指導などに優れた卒業生が多い」82.4%
- ・「IT(情報技術)の知識やスキルを身につけた卒業生が多い」78.0%
- ・「専門分野だけでなく社会全般の情勢や問題に対する興味・関心を持っている卒業生が多い」74.8%
- ・「国際感覚を身につけた卒業生が多い」38.4%

9. 本学の学生への教育活動についての印象

本学の学生への教育活動について、「全体として熱心だと感じる」「どちらかといえば熱心だと感じる」の肯定的意見は全体として 94.5%。

10. 今後、本学に希望する教育内容

今後、本学に望む教育内容としては、学科により若干の濃淡もあるが、9 学科において 30%以上の選択があったのは「技術者、研究者としての誇りや意欲を高め社会へ貢献できる人間を目指した教育」、次いで 7 学科から選択のあった「コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力のような一般的な能力を養うカリキュラム」が顕著に高くなっている。

11. 本学全般についてのご意見、ご要望(自由記述)

本学全般についての意見や要望等の記載をいただいた。

本欄への記述については、意見・要望よりも卒業生の活躍や今後の人材輩出に対する期待などが多くを占めている。

以上

【本文中の図表数値等についての留意点】

問9. 卒業者からの印象やあなたがお存じの範囲で、
 本学の学生への教育活動について、どう感じておられますか。

	全体として熱心だと感じる	どちらかといえば熱心だと感じる	あまり熱心とは感じない	熱心であると感じない	何ともいえない、わからない	無回答	全体として熱心だと感じる+どちらかといえば熱心だと感じる
平成16年度(368)	40.2	44.3	3.3	0.5	11.1	0.5	84.5
平成19年度(392)	36.2	47.2	4.3	—	12.0	0.3	83.4
平成21年度(393)	38.9	48.3	—	—	11.7	1.0	87.3
平成24年度(327)	27.8	46.8	3.1	0.3	19.6	2.4	74.6
平成27年度(357)	44.0	48.5	2.0	—	4.5	1.1	92.4
平成30年度(689)	50.5	41.2	1.5	0.3	4.9	1.6	91.7
令和3年度(515)	42.9	48.9	2.1	—	5.4	0.6	91.8
令和6年度(581)	46.5	47.8	1.0	—	4.6	—	94.3
	(人)					(%)	(%)

※1. 上図表右端の合計値、本設問であれば回答の「全体として熱心だと感じる」「どちらかといえば熱心だと感じる」の合計値は、小数点第2位を四捨五入して表示しています。そのため、合計値欄に表示された数値が図表上に表示された数値の合計と合致しない(0.1)の差異が出る場合がありますのでご了承ください。

※2. 上図表の下(社)、(%)について以降の表示は割愛している。

Ⅲ. 調査集計結果

1. 卒業生採用企業等の人材ニーズや期待への対応度

本学卒業生が企業等の人材ニーズや期待にできていると思うかとの設問である。

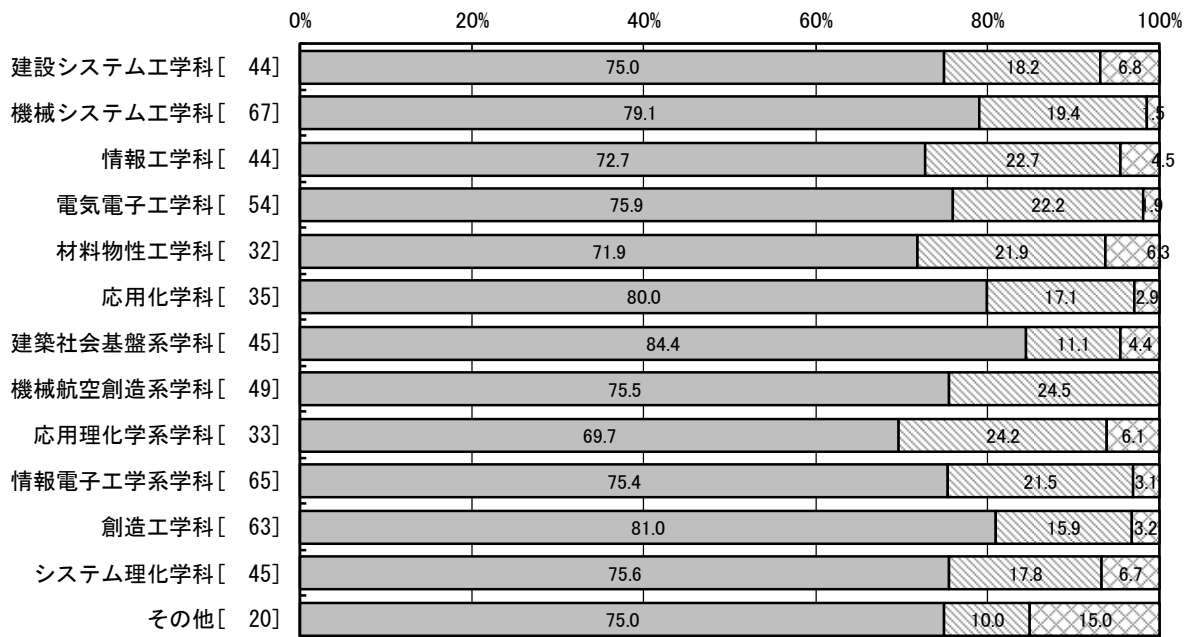
次ページ<これまでの調査との比較>でみると全体として「十分できている」76.7%、「どちらかといえばできている」19.3%を合わせた肯定的回答の合計は96.0%となっている。母数が少ないので分析は難しいところだが、学科別に若干の差異もみられる。

<これまでの調査との比較>でみると、肯定的な回答の合計は平成24年度調査以降92.7%～96.4%という高い値を維持している。

問1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待にできていると思われませんか。

	十分できている	どちらかといえばできている	やや不足している	不足している	個人間のばらつきがあり、何とも言えない	無回答	十分できている+どちらかといえばできている
建設システム工学科[44]	75.0	18.2	—	—	6.8	—	93.2
機械システム工学科[67]	79.1	19.4	—	—	1.5	—	98.5
情報工学科[44]	72.7	22.7	—	—	4.5	—	95.5
電気電子工学科[54]	75.9	22.2	—	—	1.9	—	98.1
材料物性工学科[32]	71.9	21.9	—	—	6.3	—	93.8
応用化学科[35]	80.0	17.1	—	—	2.9	—	97.1
建築社会基盤系学科[45]	84.4	11.1	—	—	4.4	—	95.6
機械航空創造系学科[49]	75.5	24.5	—	—	—	—	100.0
応用理化学系学科[33]	69.7	24.2	—	—	6.1	—	93.9
情報電子工学系学科[65]	75.4	21.5	—	—	3.1	—	96.9
創造工学科[63]	81.0	15.9	—	—	3.2	—	96.8
システム理化学科[45]	75.6	17.8	—	—	6.7	—	93.3
その他[20]	75.0	10.0	—	—	15.0	—	85.0

問1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待にできていると思われませんか。



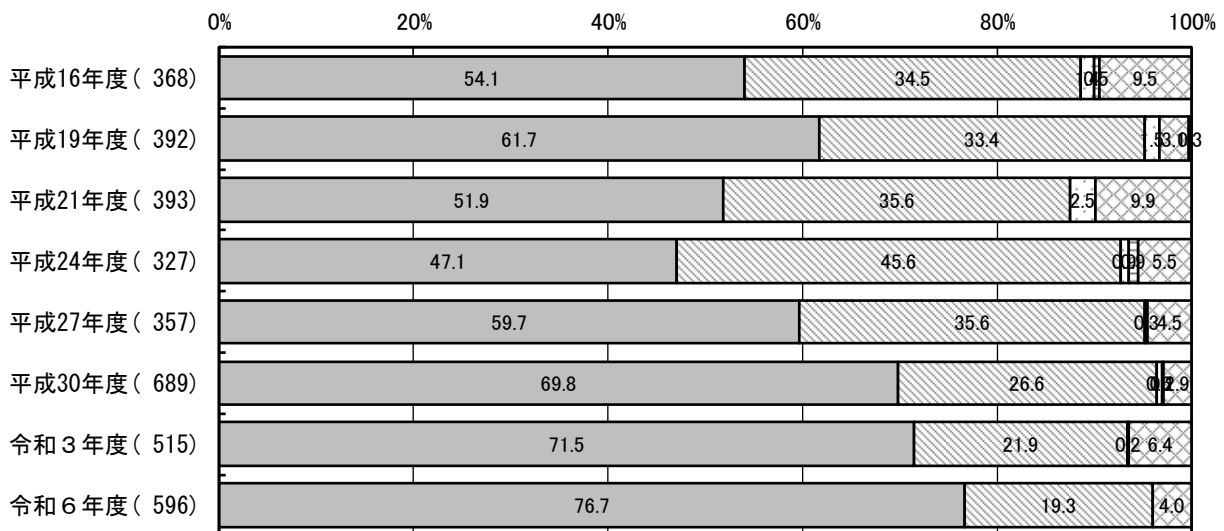
- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 十分できている | <input type="checkbox"/> どちらかといえばできている |
| <input type="checkbox"/> やや不足している | <input type="checkbox"/> 不足している |
| <input type="checkbox"/> 個人間のばらつきがあり、何とも言えない | <input type="checkbox"/> 無回答 |

<これまでの調査との比較>

問1. 本学の卒業者は全体として、貴社の人材ニーズや期待に答えていると思われませんか。

	十分応えている	どちらかと言えば応えている	やや不足している	不足している	個人間のばらつきがあり、何とも言えない	無回答	「十分応えている」+「どちらかと言えば応えている」
平成16年度(368)	54.1	34.5	1.4	0.5	9.5	—	88.6
平成19年度(392)	61.7	33.4	1.5	—	3.1	0.3	95.2
平成21年度(393)	51.9	35.6	2.5	—	9.9	—	87.5
平成24年度(327)	47.1	45.6	0.9	0.9	5.5	—	92.7
平成27年度(357)	59.7	35.6	0.3	—	4.5	—	95.2
平成30年度(689)	69.8	26.6	0.6	0.1	2.9	—	96.4
令和3年度(515)	71.5	21.9	—	0.2	6.4	—	93.4
令和6年度(596)	76.7	19.3	—	—	4.0	0.0	96.0

問1. 本学の卒業者は全体として、貴社の人材ニーズや期待に答えていると思われませんか。



- 十分応えている
- どちらかと言えば応えている
- やや不足している
- 不足している
- 個人間のばらつきがあり、何とも言えない

2. 卒業者の能力や意識の水準についての認識

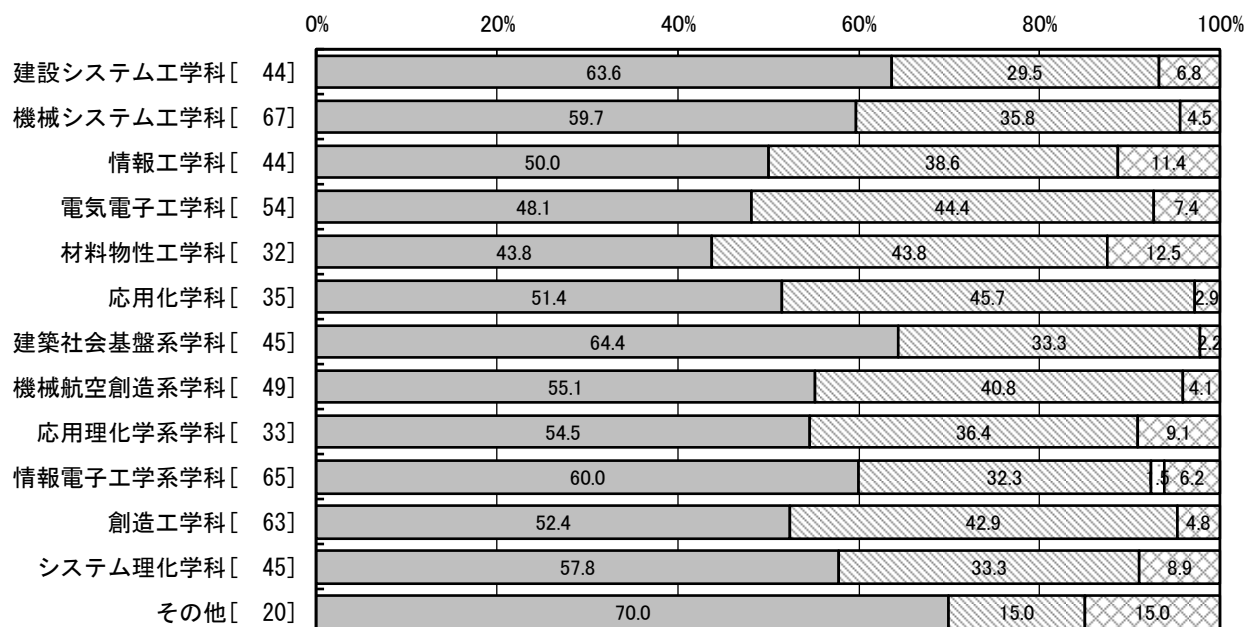
卒業者の能力や意識の水準について、次ページ<これまでの調査との比較>でみると「全体として高いと感じる」56.0%、「どちらかといえば高いと感じる」37.1%を合わせた肯定的回答は全体として93.1%。母数が少ないので分析は難しいところだが、学科別に若干の差異もみられる。

<これまでの調査との比較>でみると肯定的回答は、これまでの調査中で最も高い割合となっている。

問2. 本学の卒業者の能力や意識の水準について、どう感じておられますか。

	全体として高いと感じる	どちらかといえば高いと感じる	どちらかといえばやや低いと感じる	低いと感じる	個人間のばらつきがあり、何とも言えない	無回答	「全体として高いと感じる」+「どちらかといえば高いと感じる」
建設システム工学科[44]	63.6	29.5	—	—	6.8	—	93.2
機械システム工学科[67]	59.7	35.8	—	—	4.5	—	95.5
情報工学科[44]	50.0	38.6	—	—	11.4	—	88.6
電気電子工学科[54]	48.1	44.4	—	—	7.4	—	92.6
材料物性工学科[32]	43.8	43.8	—	—	12.5	—	87.5
応用化学科[35]	51.4	45.7	—	—	2.9	—	97.1
建築社会基盤系学科[45]	64.4	33.3	—	—	2.2	—	97.8
機械航空創造系学科[49]	55.1	40.8	—	—	4.1	—	95.9
応用理化学系学科[33]	54.5	36.4	—	—	9.1	—	90.9
情報電子工学系学科[65]	60.0	32.3	1.5	—	6.2	—	92.3
創造工学科[63]	52.4	42.9	—	—	4.8	—	95.2
システム理化学科[45]	57.8	33.3	—	—	8.9	—	91.1
その他[20]	70.0	15.0	—	—	15.0	—	85.0

問2. 本学の卒業者の能力や意識の水準について、どう感じておられますか。



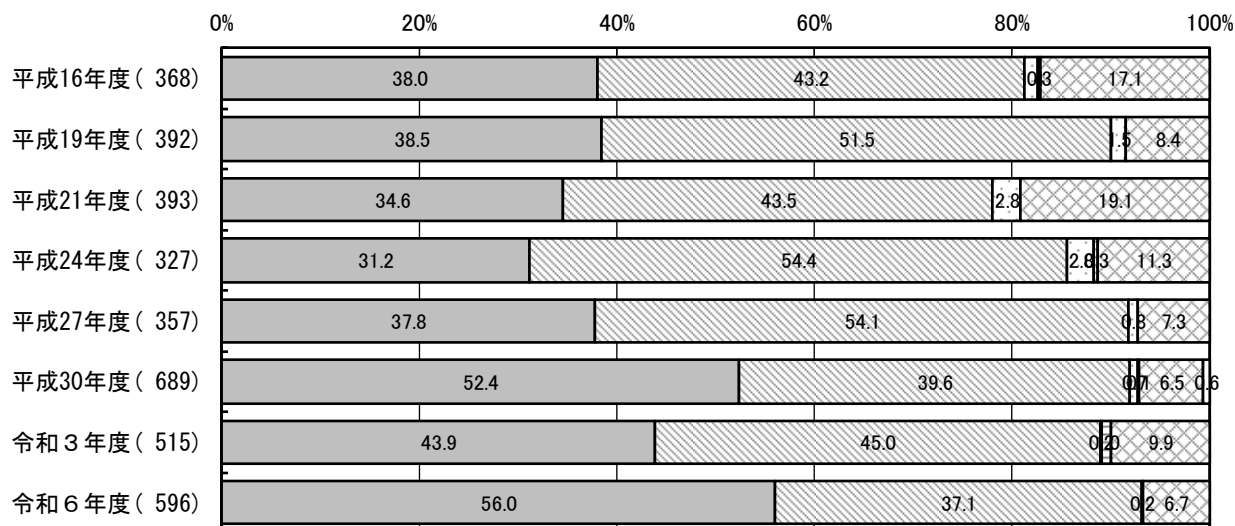
- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 全体として高いと感じる | <input type="checkbox"/> どちらかといえば高いと感じる |
| <input type="checkbox"/> どちらかといえばやや低いと感じる | <input type="checkbox"/> 低いと感じる |
| <input type="checkbox"/> 個人間のばらつきがあり、何とも言えない | <input type="checkbox"/> 無回答 |

<これまでの調査との比較>

問2. 本学の卒業者の能力や意識の水準について、どう感じておられますか。

	全体として高いと感じる	どちらかと言えば高いと感じる	どちらかと言えばやや低いと感じる	低いと感じる	個人間のばらつきがあり、何とも言えない	無回答	「全体として高いと感じる」+「どちらかといえば高いと感じる」
平成16年度(368)	38.0	43.2	1.4	0.3	17.1	—	81.3
平成19年度(392)	38.5	51.5	1.5	—	8.4	—	90.1
平成21年度(393)	34.6	43.5	2.8	—	19.1	—	78.1
平成24年度(327)	31.2	54.4	2.8	0.3	11.3	—	85.6
平成27年度(357)	37.8	54.1	0.8	—	7.3	—	91.9
平成30年度(689)	52.4	39.6	0.7	0.1	6.5	0.6	92.0
令和3年度(515)	43.9	45.0	0.2	1.0	9.9	—	88.9
令和6年度(596)	56.0	37.1	0.2	—	6.7	—	93.1

問2. 本学の卒業者の能力や意識の水準について、どう感じておられますか。



<input type="checkbox"/> 全体として高いと感じる	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば高いと感じる
<input type="checkbox"/> どちらかと言えばやや低いと感じる	<input type="checkbox"/> 低いと感じる
<input type="checkbox"/> 個人間のばらつきがあり、何とも言えない	<input type="checkbox"/> 無回答

3. 本学の就職支援活動についての印象

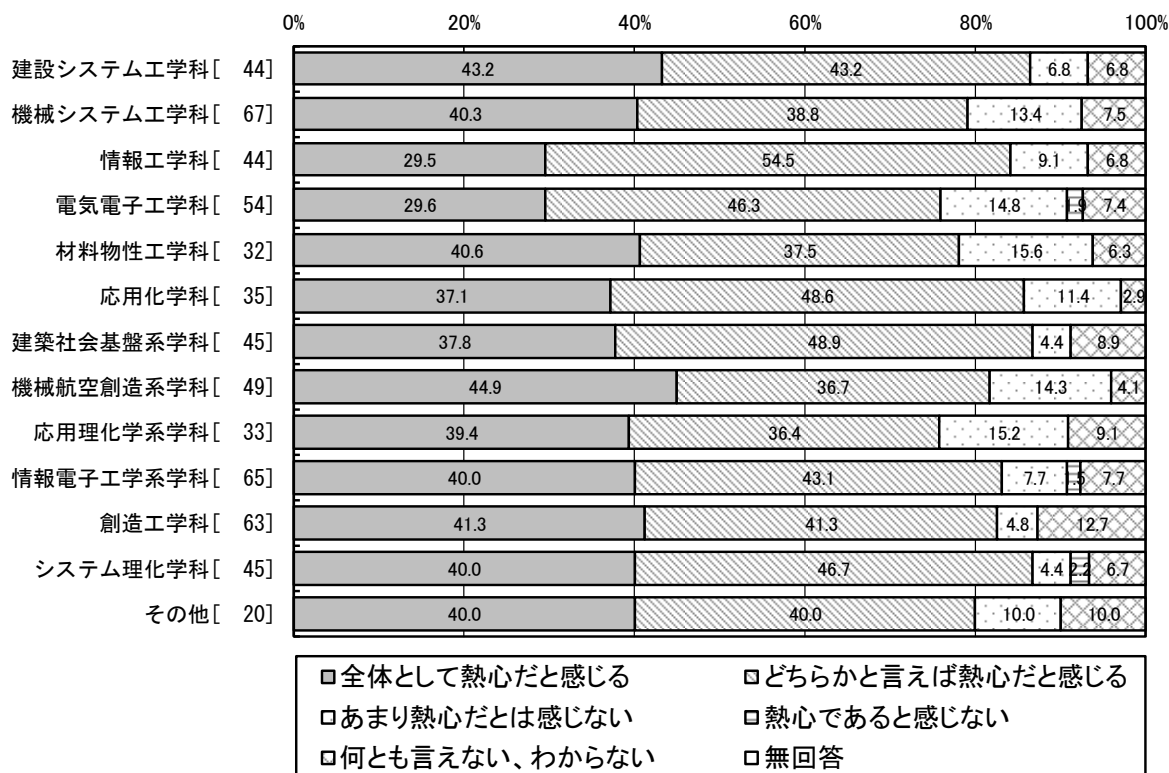
本学の就職支援活動について、次ページ<これまでの調査との比較>でみると「全体として熱心だと感じる」38.8%、「どちらかといえば熱心だと感じる」43.3%を合わせた肯定的回答は全体として82.0%。

<これまでの調査との比較>でみると肯定的回答は、これまでの調査中で最も高い割合となっている。

問3. 本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どう感じておられますか。

	全体として熱心だと感じる	どちらかといえば熱心だと感じる	あまり熱心だとは感じない	熱心であると感じない	何とも言えない、わからない	無回答	「全体として熱心だと感じる」+「どちらかといえば熱心だと感じる」
建設システム工学科[44]	43.2	43.2	6.8	—	6.8	—	86.4
機械システム工学科[67]	40.3	38.8	13.4	—	7.5	—	79.1
情報工学科[44]	29.5	54.5	9.1	—	6.8	—	84.1
電気電子工学科[54]	29.6	46.3	14.8	1.9	7.4	—	75.9
材料物性工学科[32]	40.6	37.5	15.6	—	6.3	—	78.1
応用化学科[35]	37.1	48.6	11.4	—	2.9	—	85.7
建築社会基盤系学科[45]	37.8	48.9	4.4	—	8.9	—	86.7
機械航空創造系学科[49]	44.9	36.7	14.3	—	4.1	—	81.6
応用理化学系学科[33]	39.4	36.4	15.2	—	9.1	—	75.8
情報電子工学系学科[65]	40.0	43.1	7.7	1.5	7.7	—	83.1
創造工学科[63]	41.3	41.3	4.8	—	12.7	—	82.5
システム理化学科[45]	40.0	46.7	4.4	2.2	6.7	—	86.7
その他[20]	40.0	40.0	10.0	—	10.0	—	80.0

問3. 本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どう感じておられますか。

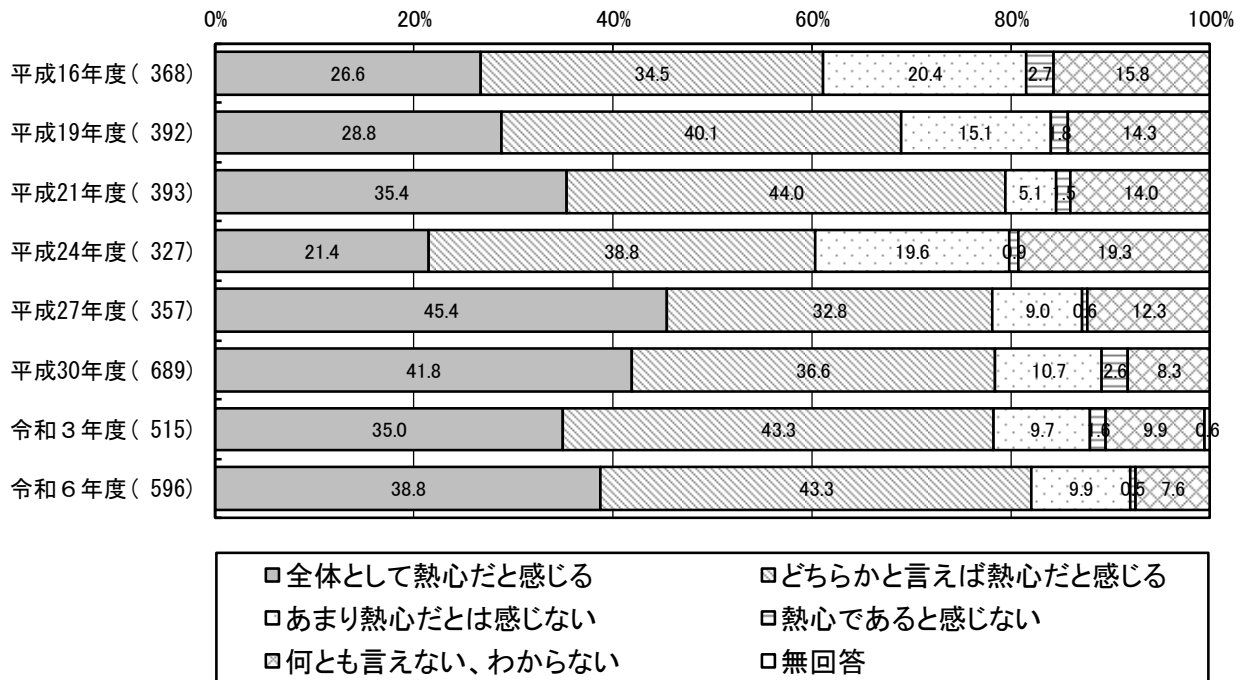


<これまでの調査との比較>

問3. 本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どう感じておられますか。

	全体として熱心だと感じる	どちらかと言えば熱心だと感じる	あまり熱心だとは感じない	熱心であると感じない	何とも言えない、わからない	無回答	「全体として熱心だと感じる」+「どちらかと言えば熱心だと感じる」
平成16年度(368)	26.6	34.5	20.4	2.7	15.8	—	61.1
平成19年度(392)	28.8	40.1	15.1	1.8	14.3	—	68.9
平成21年度(393)	35.4	44.0	5.1	1.5	14.0	—	79.4
平成24年度(327)	21.4	38.8	19.6	0.9	19.3	—	60.2
平成27年度(357)	45.4	32.8	9.0	0.6	12.3	—	78.2
平成30年度(689)	41.8	36.6	10.7	2.6	8.3	—	78.4
令和3年度(515)	35.0	43.3	9.7	1.6	9.9	0.6	78.3
令和6年度(596)	38.8	43.3	9.9	0.5	7.6	—	82.0

問3. 本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どう感じておられますか。



4. 今後の本学卒業者に対する求人・採用意欲

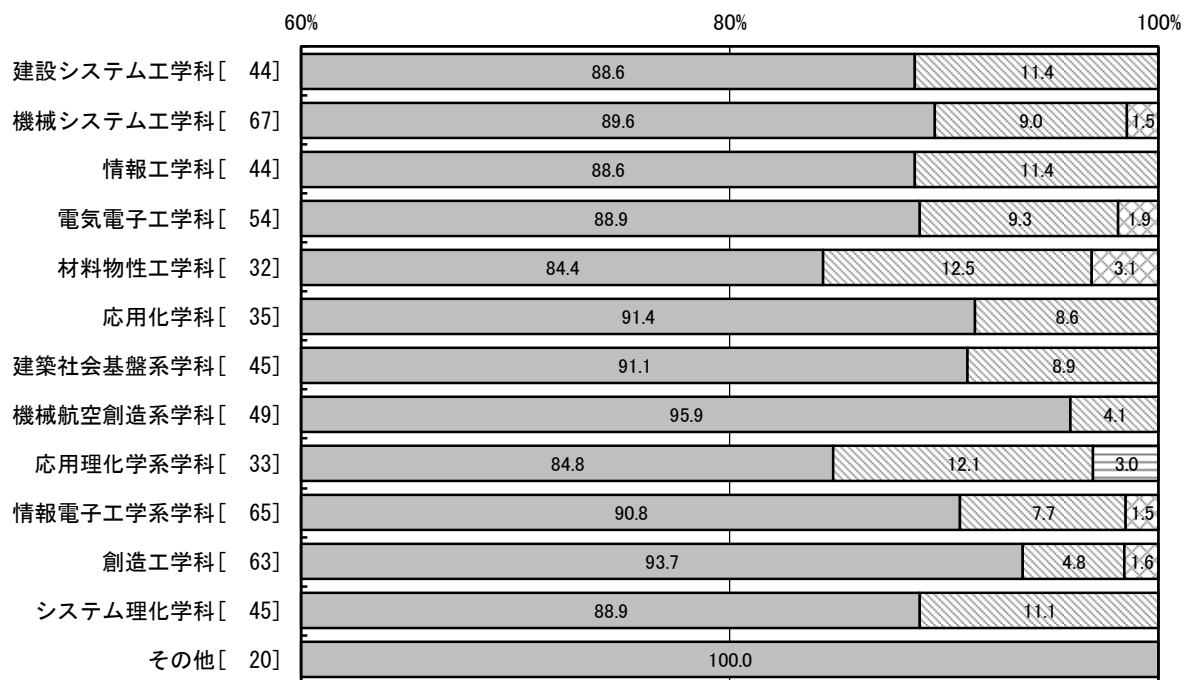
本学卒業者について「今後も積極的に求人・採用していきたい」と回答した企業等は次ページくこれまでの調査との比較>でみると全体として90.4%。

<これまでの調査との比較>でみると肯定的回答は、これまでの調査中で最も高い割合となっている。

問4. 今後の本学の卒業者についての求人・採用に関してどうお考えですか。

	今後も積極的に求人・採用していきたい	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	求人・採用をしていく予定はない	採用は個人本位であり、何とも言えない	その他	無回答
建設システム工学科 [44]	88.6	11.4	—	—	—	—
機械システム工学科 [67]	89.6	9.0	—	—	1.5	—
情報工学科 [44]	88.6	11.4	—	—	—	—
電気電子工学科 [54]	88.9	9.3	—	—	1.9	—
材料物性工学科 [32]	84.4	12.5	—	—	3.1	—
応用化学科 [35]	91.4	8.6	—	—	—	—
建築社会基盤系学科 [45]	91.1	8.9	—	—	—	—
機械航空創造系学科 [49]	95.9	4.1	—	—	—	—
応用理化学系学科 [33]	84.8	12.1	—	3.0	—	—
情報電子工学系学科 [65]	90.8	7.7	—	—	1.5	—
創造工学科 [63]	93.7	4.8	—	—	1.6	—
システム理化学科 [45]	88.9	11.1	—	—	—	—
その他 [20]	100.0	—	—	—	—	—

問4. 今後の本学の卒業者についての求人・採用に関してどうお考えですか。



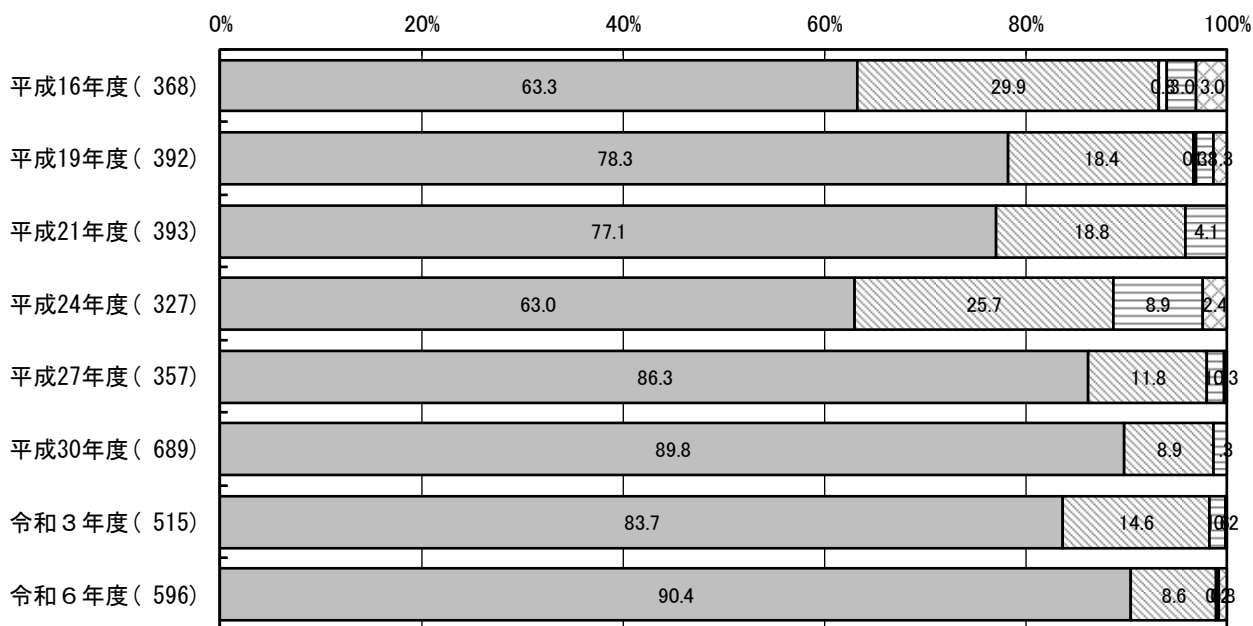
- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 今後も積極的に求人・採用していきたい | <input type="checkbox"/> 他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく |
| <input type="checkbox"/> 求人・採用をしていく予定はない | <input type="checkbox"/> 採用は個人本位であり、何とも言えない |
| <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 無回答 |

<これまでの調査との比較>

問4. 今後の本学の卒業生についての求人・採用に関してどうお考えですか。

	今後も積極的に求人・採用していきたい	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	求人・採用をしていく予定はない	採用は個人本位であり、何とも言えない	その他	無回答
平成16年度(368)	63.3	29.9	0.8	3.0	3.0	—
平成19年度(392)	78.3	18.4	0.3	1.8	1.3	—
平成21年度(393)	77.1	18.8	—	4.1	—	—
平成24年度(327)	63.0	25.7	—	8.9	2.4	—
平成27年度(357)	86.3	11.8	—	1.7	0.3	—
平成30年度(689)	89.8	8.9	—	1.3	—	—
令和3年度(515)	83.7	14.6	—	1.6	0.2	—
令和6年度(596)	90.4	8.6	—	0.2	0.8	—

問4. 今後の本学の卒業生についての求人・採用に関してどうお考えですか。



- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 今後も積極的に求人・採用していきたい | <input type="checkbox"/> 他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく |
| <input type="checkbox"/> 求人・採用をしていく予定はない | <input type="checkbox"/> 採用は個人本位であり、何とも言えない |
| <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 無回答 |

5. 本学卒業者の採用理由

本学卒業者の採用理由については、次ページ<これまでの調査との比較>でみると全体としての上位3項目は高い順に「専門分野が当社に合致しているから」69.3%、次いで「過去の卒業生の実績が認められるから」68.6%、「基礎学力があり、伸びる人材である点」68.0%となっている。

<これまでの調査との比較>では平成16～令和3年度の平均と今回調査の比較を追加した。

参考とはなるが平均値と比較して大きく割合が増えているのは「専門分野が当社に合致しているから」22.3%、「コミュニケーション力や人間的に魅力を感じる点が多いから」20.2%、「基礎学力があり、伸びる人材である点」18.3%である。教員からの推薦・紹介については平均より減少、他の項目については過去調査の平均値よりも肯定割合が増加している。

問5. これまで本学の卒業者を採用いただいた理由は何ですか。以下の選択項目から、該当すると思われるものをすべて選択してください（複数選択可）。

	回答者数	合計	1. 薦教員からの紹介・推	2. らが過去の卒業生の実績	3. が一認定水準以上である能力	4. 致専し門て分野が当社に合	5. び基礎人材力である点、伸	6. 感力コじやミる人間的に魅力を感じる点が多いから	7. る当退か人社職が風が多士少ないと合致し	8. その他	9. 無回答	
※70%以上のセルに網掛けをしている												
①学部卒業者	1. 建設システム工学科	44 (100.0)	174 (395.5)	18 (40.9)	31 (70.5)	33 (75.0)	32 (72.7)	29 (65.9)	19 (43.2)	10 (22.7)	2 (4.5)	0 (-)
	2. 機械システム工学科	67 (100.0)	277 (413.4)	29 (43.3)	50 (74.6)	47 (70.1)	47 (70.1)	48 (71.6)	33 (49.3)	21 (31.3)	2 (3.0)	0 (-)
	3. 情報工学科	44 (100.0)	180 (409.1)	20 (45.5)	32 (72.7)	30 (68.2)	33 (75.0)	32 (72.7)	19 (43.2)	12 (27.3)	2 (4.5)	0 (-)
	4. 電気電子工学科	54 (100.0)	206 (381.5)	26 (48.1)	38 (70.4)	31 (57.4)	37 (68.5)	35 (64.8)	25 (46.3)	12 (22.2)	2 (3.7)	0 (-)
	5. 材料物性工学科	32 (100.0)	119 (371.9)	12 (37.5)	21 (65.6)	20 (62.5)	22 (68.8)	19 (59.4)	14 (43.8)	9 (28.1)	2 (6.3)	0 (-)
	6. 応用化学科	35 (100.0)	144 (411.4)	19 (54.3)	25 (71.4)	22 (62.9)	23 (65.7)	25 (71.4)	17 (48.6)	11 (31.4)	2 (5.7)	0 (-)
	7. 建築社会基盤系学科	45 (100.0)	180 (400.0)	17 (37.8)	31 (68.9)	32 (71.1)	36 (80.0)	30 (66.7)	22 (48.9)	12 (26.7)	0 (-)	0 (-)
	8. 機械航空創造系学科	49 (100.0)	212 (432.7)	20 (40.8)	40 (81.6)	35 (71.4)	36 (73.5)	33 (67.3)	27 (55.1)	18 (36.7)	3 (6.1)	0 (-)
	9. 応用理化学系学科	33 (100.0)	135 (409.1)	16 (48.5)	24 (72.7)	25 (75.8)	17 (51.5)	21 (63.6)	17 (51.5)	13 (39.4)	2 (6.1)	0 (-)
	10. 情報電子工学系学科	65 (100.0)	264 (406.2)	33 (50.8)	43 (66.2)	42 (64.6)	48 (73.8)	45 (69.2)	33 (50.8)	18 (27.7)	2 (3.1)	0 (-)
	11. 創造工学科	63 (100.0)	237 (376.2)	22 (34.9)	44 (69.8)	43 (68.3)	38 (60.3)	42 (66.7)	30 (47.6)	15 (23.8)	3 (4.8)	0 (-)
	12. システム理化学科	45 (100.0)	147 (326.7)	12 (26.7)	19 (42.2)	23 (51.1)	28 (62.2)	33 (73.3)	20 (44.4)	10 (22.2)	2 (4.4)	0 (-)
	13. その他	20 (100.0)	74 (370.0)	9 (45.0)	11 (55.0)	10 (50.0)	16 (80.0)	13 (65.0)	9 (45.0)	5 (25.0)	1 (5.0)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合

【その他（自由記述）】

問 5. これまで本学の卒業者を採用いただいた理由は何ですか。以下の選択項目から、該当すると思われるものをすべて選択してください（複数選択可）。 8.その他
地場企業として地元大学から積極採用したい
弊社所在地（室蘭）の大学である
人材不足のため
就学支援制度により御校に入校したため
能力は各人によるが、勉強の基礎があるため
大学院生からの紹介
求職学生から直接応募があった
十分に自己の将来像や価値観について理解し、企業選択を行えているから
地元三重県で働きたいという理由が採用の決め手の1つです。
ご本人から応募があり、当社の求める人材像とマッチしていたため

<これまでの調査との比較>

問5. これまで本学の卒業者を採用いただいた理由は何ですか。以下の選択項目から、該当すると思われるものをすべて選択してください（複数選択可）。

	教員からの紹介・推薦	め過 ら去 れの て卒 い業 る生 かの実 績が認	れ水 る準 か以 ら上 の卒 能で 力あ がり、 認め一 ら定	て専 い門 る分 か野 らが 当社 に合 致し	人基 材礎 で学 力あ る点 あり、 伸び る	が人 多間 い的 かに 魅力 を感 じる 力点 や	コ ミ ニ ケ ー シ ョ ン の 力 や	多 い 風 土 に 合 じ る 致 す な ら ど 材 が 社	そ の 他	無 回 答
平成16年度（368）	62.0	60.9	53.0	37.8	37.5	13.0	8.4	3.0	1.1	
平成19年度（392）	61.7	65.6	62.2	44.6	52.0	26.0	14.3	3.1	0.8	
平成21年度（393）	64.6	69.2	56.2	48.1	48.3	20.4	16.5	6.1	—	
平成24年度（327）	45.6	58.4	54.1	37.9	40.7	24.5	9.8	2.1	1.8	
平成27年度（357）	53.5	68.9	62.5	51.5	54.1	32.2	12.3	0.8	—	
平成30年度（689）	54.9	68.1	63.7	49.8	60.2	40.3	20.9	3.2	—	
令和3年度（515）	44.5	67.8	58.3	59.2	54.6	36.7	21.0	1.7	0.2	
令和6年度（596）	42.4	68.6	65.9	69.3	68.0	47.8	27.9	4.2	—	
成16年度～令和3年度の平均	55.2	65.5	58.6	47.0	49.6	27.6	14.7			
上記平均と令和6年度の差異	-12.8	3.1	7.4	22.3	18.3	20.2	13.1			

6-1. 本学の学部卒業者の雇用人数

6-2. 本学の学部卒業者の該当する学科

回答企業が雇用している本学の学部卒業者の人数については、次ページ<これまでの調査との比較>でみると全体としてみれば「5人以上」が72.5%、「10人以上」が41.6%となっている。

問6-1. 現在、貴社に雇用されている本学の学部卒業者の人数をご記入ください。

		合計	1. 1～4人	2. 5～9人	3. 10～14人	4. 15～19人	5. 20人以上	6. 無回答	2～5 5人以上	3～5 10人以上
① 学部 卒業 者	1. 建設システム工学科	44 (100.0)	9 (20.5)	12 (27.3)	7 (15.9)	6 (13.6)	10 (22.7)	0 (-)	35 (79.5)	23 (52.3)
	2. 機械システム工学科	67 (100.0)	16 (23.9)	20 (29.9)	11 (16.4)	7 (10.4)	13 (19.4)	0 (-)	51 (76.1)	31 (46.3)
	3. 情報工学科	44 (100.0)	8 (18.2)	15 (34.1)	6 (13.6)	5 (11.4)	10 (22.7)	0 (-)	36 (81.8)	21 (47.7)
	4. 電気電子工学科	54 (100.0)	9 (16.7)	17 (31.5)	11 (20.4)	5 (9.3)	12 (22.2)	0 (-)	45 (83.3)	28 (51.9)
	5. 材料物性工学科	32 (100.0)	4 (12.5)	11 (34.4)	4 (12.5)	3 (9.4)	10 (31.3)	0 (-)	28 (87.5)	17 (53.1)
	6. 応用化学科	35 (100.0)	8 (22.9)	11 (31.4)	4 (11.4)	4 (11.4)	8 (22.9)	0 (-)	27 (77.1)	16 (45.7)
	7. 建築社会基盤系学科	45 (100.0)	13 (28.9)	13 (28.9)	6 (13.3)	6 (13.3)	7 (15.6)	0 (-)	32 (71.1)	19 (42.2)
	8. 機械航空創造系学科	49 (100.0)	13 (26.5)	18 (36.7)	4 (8.2)	5 (10.2)	9 (18.4)	0 (-)	36 (73.5)	18 (36.7)
	9. 応用理化学系学科	33 (100.0)	11 (33.3)	7 (21.2)	4 (12.1)	5 (15.2)	6 (18.2)	0 (-)	22 (66.7)	15 (45.5)
	10. 情報電子工学系学科	65 (100.0)	19 (29.2)	21 (32.3)	8 (12.3)	5 (7.7)	12 (18.5)	0 (-)	46 (70.8)	25 (38.5)
	11. 創造工学科	63 (100.0)	21 (33.3)	23 (36.5)	6 (9.5)	4 (6.3)	9 (14.3)	0 (-)	42 (66.7)	19 (30.2)
	12. システム理化学科	45 (100.0)	29 (64.4)	7 (15.6)	1 (2.2)	2 (4.4)	6 (13.3)	0 (-)	16 (35.6)	9 (20.0)
	13. その他	20 (100.0)	4 (20.0)	9 (45.0)	1 (5.0)	3 (15.0)	3 (15.0)	0 (-)	16 (80.0)	7 (35.0)

注:()内はサンプル数を100とした割合

<これまでの調査との比較>

問6-1. 現在、貴社に雇用されている本学の学部卒業者の人数をご記入ください。

	1～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20人以上	無回答	5人以上	10人以上
平成16年度(363)	38.0	34.4	14.0	5.2	6.1	2.2	59.8	25.3
平成19年度(392)	29.6	24.0	17.1	7.7	19.4	2.3	68.1	44.1
平成21年度(393)	22.1	22.1	19.1	10.4	26.0	0.3	77.6	55.5
平成24年度(327)	41.9	22.6	11.6	10.1	13.8	—	58.1	35.5
平成27年度(357)	37.5	22.1	21.8	5.3	12.3	0.8	61.6	39.5
平成30年度(689)	31.1	26.3	15.8	8.4	17.0	1.5	67.5	41.2
令和3年度(515)	34.6	18.3	16.3	6.0	23.7	1.2	64.3	46.0
令和6年度(596)	27.5	30.9	12.2	10.1	19.3	—	72.5	41.6

問6-2. 現在、貴社に雇用されている本学の学部卒業者の該当する学科をすべて選択してください(複数選択可)。

		合計	1. 建設システム工学科	2. 機械システム工学科	3. 情報工学科	4. 電気電子工学科	5. 材料物性工学科	6. 応用化学科	7. 建築社会基盤系学科	8. 機械航空創造系学科	9. 応用理化学系学科	10. 情報電子工学系学科	11. 創造工学科	12. システム理化学科	13. その他
全体		3,632 (100.0)	339 (9.3)	590 (16.2)	356 (9.8)	548 (15.1)	382 (10.5)	356 (9.8)	150 (4.1)	226 (6.2)	162 (4.5)	264 (7.3)	63 (1.7)	45 (1.2)	151 (4.2)
調査年度	1. 平成16年度	363 (100.0)	51 (14.0)	75 (20.7)	57 (15.7)	71 (19.6)	56 (15.4)	53 (14.6)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	2. 平成19年度	392 (100.0)	51 (13.0)	87 (22.2)	55 (14.0)	85 (21.7)	63 (16.1)	51 (13.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	3. 平成21年度	393 (100.0)	44 (11.2)	99 (25.2)	52 (13.2)	81 (20.6)	61 (15.5)	56 (14.2)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	4. 平成24年度	327 (100.0)	44 (13.5)	56 (17.1)	43 (13.1)	62 (19.0)	43 (13.1)	43 (13.1)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	36 (11.0)
	5. 平成27年度	357 (100.0)	28 (7.8)	58 (16.2)	16 (4.5)	58 (16.2)	29 (8.1)	36 (10.1)	17 (4.8)	44 (12.3)	23 (6.4)	29 (8.1)	0 (-)	0 (-)	19 (5.3)
	6. 平成30年度	689 (100.0)	43 (6.2)	85 (12.3)	49 (7.1)	84 (12.2)	61 (8.9)	43 (6.2)	42 (6.1)	67 (9.7)	60 (8.7)	97 (14.1)	0 (-)	0 (-)	58 (8.4)
	7. 令和3年度	515 (100.0)	34 (6.6)	63 (12.2)	40 (7.8)	53 (10.3)	37 (7.2)	39 (7.6)	46 (8.9)	66 (12.8)	46 (8.9)	73 (14.2)	0 (-)	0 (-)	18 (3.5)
	8. 令和6年度	596 (100.0)	44 (7.4)	67 (11.2)	44 (7.4)	54 (9.1)	32 (5.4)	35 (5.9)	45 (7.6)	49 (8.2)	33 (5.5)	65 (10.9)	63 (10.6)	45 (7.6)	20 (3.4)

注:()内はサンプル数を100とした割合

6-3. 本学の学部卒業生の職種

学部卒業者に関して、次ページ<これまでの調査との比較>でみると全体としては技術職が86.9%、次いで総合職32.6%、研究職14.8%、営業職11.7%、事務職7.7%となっている。

<これまでの調査との比較>を参照し、学部卒業者全体で平成27年度調査からの職種別の推移を鳥瞰すると、技術職は概ね92%～87%の範囲で微減傾向、研究職は17%～12%の範囲で推移、総合職は23%～33%で微増傾向、営業職は12%～17%の範囲で推移している。

問6-3. 貴社での本学の学部卒業生の職種は一般にどの職種に該当しますか。該当職種をすべて選択してください（複数選択可）。

	回答者数	合計	1. 営業職	2. 技術職	3. 事務職	4. 研究職	5. 総合職	6. その他	7. 無回答	
①学部卒業生	1. 建設システム工学科	44 (100.0)	73 (165.9)	7 (15.9)	40 (90.9)	4 (9.1)	5 (11.4)	16 (36.4)	1 (2.3)	0 (-)
	2. 機械システム工学科	67 (100.0)	113 (168.7)	11 (16.4)	59 (88.1)	5 (7.5)	13 (19.4)	22 (32.8)	3 (4.5)	0 (-)
	3. 情報工学科	44 (100.0)	63 (143.2)	2 (4.5)	39 (88.6)	3 (6.8)	6 (13.6)	11 (25.0)	2 (4.5)	0 (-)
	4. 電気電子工学科	54 (100.0)	78 (144.4)	4 (7.4)	48 (88.9)	3 (5.6)	8 (14.8)	12 (22.2)	3 (5.6)	0 (-)
	5. 材料物性工学科	32 (100.0)	63 (196.9)	6 (18.8)	27 (84.4)	4 (12.5)	9 (28.1)	14 (43.8)	3 (9.4)	0 (-)
	6. 応用化学科	35 (100.0)	67 (191.4)	6 (17.1)	29 (82.9)	5 (14.3)	9 (25.7)	17 (48.6)	1 (2.9)	0 (-)
	7. 建築社会基盤系学科	45 (100.0)	66 (146.7)	5 (11.1)	39 (86.7)	4 (8.9)	2 (4.4)	16 (35.6)	0 (-)	0 (-)
	8. 機械航空創造系学科	49 (100.0)	80 (163.3)	5 (10.2)	42 (85.7)	3 (6.1)	9 (18.4)	18 (36.7)	3 (6.1)	0 (-)
	9. 応用理化学系学科	33 (100.0)	58 (175.8)	5 (15.2)	27 (81.8)	2 (6.1)	6 (18.2)	17 (51.5)	1 (3.0)	0 (-)
	10. 情報電子工学系学科	65 (100.0)	93 (143.1)	6 (9.2)	59 (90.8)	5 (7.7)	6 (9.2)	15 (23.1)	2 (3.1)	0 (-)
	11. 創造工学科	63 (100.0)	88 (139.7)	8 (12.7)	55 (87.3)	4 (6.3)	4 (6.3)	15 (23.8)	2 (3.2)	0 (-)
	12. システム理化学科	45 (100.0)	65 (144.4)	3 (6.7)	36 (80.0)	3 (6.7)	7 (15.6)	15 (33.3)	1 (2.2)	0 (-)
	13. その他	20 (100.0)	32 (160.0)	2 (10.0)	18 (90.0)	1 (5.0)	4 (20.0)	6 (30.0)	1 (5.0)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合

【その他（自由記述）】

問 6-3. 貴社での本学の学部卒業生の職種は一般にどの職種に該当しますか。該当職種をすべて選択してください（複数選択可）。 6.その他
システムエンジニア
代表取締役
セールスエンジニア
ロジスティクスオペレーション
開発職
施工管理職
役員
SE、管理職

<これまでの調査との比較>

問6-3. 貴社での本学の学部卒業生の職種は一般にどの職種に該当しますか。該当職種をすべて選択してください（複数選択可）。

	回答者数	合計	1. 営業職	2. 技術職	3. 事務職	4. 研究職	5. 総合職	6. その他	7. 無回答	
全体	3,632 (100.0)	5,639 (155.3)	557 (15.3)	3,186 (87.7)	295 (8.1)	553 (15.2)	903 (24.9)	116 (3.2)	29 (0.8)	
調査 年度	1. 平成16年度	363 (100.0)	521 (143.5)	59 (16.3)	330 (90.9)	5 (1.4)	69 (19.0)	52 (14.3)	6 (1.7)	0 (-)
	2. 平成19年度	392 (100.0)	625 (159.4)	66 (16.8)	357 (91.1)	19 (4.8)	79 (20.2)	85 (21.7)	14 (3.6)	5 (1.3)
	3. 平成21年度	393 (100.0)	659 (167.7)	79 (20.1)	358 (91.1)	37 (9.4)	79 (20.1)	63 (16.0)	27 (6.9)	16 (4.1)
	4. 平成24年度	327 (100.0)	458 (140.1)	49 (15.0)	275 (84.1)	24 (7.3)	43 (13.1)	65 (19.9)	2 (0.6)	0 (-)
	5. 平成27年度	357 (100.0)	551 (154.3)	44 (12.3)	327 (91.6)	23 (6.4)	62 (17.4)	83 (23.2)	11 (3.1)	1 (0.3)
	6. 平成30年度	689 (100.0)	1,095 (158.9)	119 (17.3)	582 (84.5)	86 (12.5)	72 (10.4)	213 (30.9)	23 (3.3)	0 (-)
	7. 令和3年度	515 (100.0)	791 (153.6)	71 (13.8)	439 (85.2)	55 (10.7)	61 (11.8)	148 (28.7)	10 (1.9)	7 (1.4)
	8. 令和6年度	596 (100.0)	939 (157.6)	70 (11.7)	518 (86.9)	46 (7.7)	88 (14.8)	194 (32.6)	23 (3.9)	0 (-)

注：（ ）内はサンプル数を100とした割合

6-4. 本学の大学院博士前期課程（修士課程）修了者の雇用人数

6-5. 本学の大学院博士前期課程（修士課程）修了者の該当する専攻

回答企業が雇用している本学の大学院博士前期課程（修士課程）卒業者の人数については、次ページ<これまでの調査との比較>でみると全体としてみれば「5人以上」が51.4%となっている。

問6-4. 現在、貴社に雇用されている本学の大学院博士前期課程（修士課程）修了者の人数をご記入ください。

		合計	1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人以上	6. 無回答
問 6 - 5 大 学 院 博 士 前 期 課 程 （ 修 士 課 程 ） 修 了 者	1. 建設システム工学専攻	18 (100.0)	3 (16.7)	2 (11.1)	0 (-)	1 (5.6)	12 (66.7)	0 (-)
	2. 機械システム工学専攻	26 (100.0)	5 (19.2)	2 (7.7)	2 (7.7)	2 (7.7)	15 (57.7)	0 (-)
	3. 情報工学専攻	19 (100.0)	1 (5.3)	7 (36.8)	3 (15.8)	1 (5.3)	7 (36.8)	0 (-)
	4. 電気電子工学専攻	25 (100.0)	3 (12.0)	4 (16.0)	3 (12.0)	3 (12.0)	12 (48.0)	0 (-)
	5. 材料物性工学専攻	13 (100.0)	2 (15.4)	0 (-)	1 (7.7)	1 (7.7)	9 (69.2)	0 (-)
	6. 応用化学専攻	10 (100.0)	0 (-)	1 (10.0)	1 (10.0)	0 (-)	8 (80.0)	0 (-)
	7. 建築社会基盤系専攻	12 (100.0)	0 (-)	3 (25.0)	0 (-)	0 (-)	9 (75.0)	0 (-)
	8. 機械創造工学系専攻	17 (100.0)	3 (17.6)	0 (-)	1 (5.9)	1 (5.9)	12 (70.6)	0 (-)
	9. 応用理化学系専攻	18 (100.0)	3 (16.7)	2 (11.1)	1 (5.6)	0 (-)	12 (66.7)	0 (-)
	10. 情報電子工学系専攻	50 (100.0)	14 (28.0)	12 (24.0)	4 (8.0)	3 (6.0)	17 (34.0)	0 (-)
	11. 航空宇宙システム工学専攻	9 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	3 (33.3)	6 (66.7)	0 (-)
	12. 公共システム工学専攻	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	13. 数理システム工学専攻	2 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (100.0)	0 (-)
	14. 環境創生工学系専攻	34 (100.0)	16 (47.1)	2 (5.9)	0 (-)	2 (5.9)	14 (41.2)	0 (-)
	15. 生産システム工学系専攻	32 (100.0)	9 (28.1)	7 (21.9)	0 (-)	2 (6.3)	14 (43.8)	0 (-)
	16. その他	9 (100.0)	4 (44.4)	1 (11.1)	0 (-)	1 (11.1)	2 (22.2)	1 (11.1)

注：()内はサンプル数を100とした割合

【その他（自由記述）】

問 6-5. 現在、貴社に雇用されている本学の大学院博士前期課程（修士課程）修了者の該当する専攻をすべて選択してください（複数選択可）。 16.その他
建築工学専攻
建築工学専攻、工学専攻 先端環境創生工学コース
工学研究科
工学研究科工学専攻
土木工学コース
土木工学科
土木工学専攻
不明 2件

<これまでの調査との比較>

問6-4. 現在、貴社に雇用されている本学の大学院博士前期課程（修士課程）修了者の人数をご記入ください。

	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
平成16年度(163)	27.0	17.8	20.9	6.7	25.8	1.8
平成19年度(186)	22.6	10.8	11.3	5.9	48.9	0.5
平成21年度(226)	14.6	10.2	8.8	7.1	58.4	0.9
平成24年度(128)	25.0	16.4	16.4	6.3	35.9	—
平成27年度(222)	15.3	15.8	9.9	6.3	51.4	1.4
平成30年度(445)	15.7	9.2	10.3	10.3	52.4	2.0
令和3年度(290)	20.7	14.1	9.7	5.2	48.6	1.7
令和6年度(294)	21.4	14.6	5.4	6.8	51.4	0.3

問6-5. 現在、貴社に雇用されている本学の大学院博士前期課程（修士課程）修了者の該当する専攻をすべて選択してください（複数選択可）。

		合計	1. 建設システム工学専攻	2. 機械システム工学専攻	3. 情報工学専攻	4. 電気電子工学専攻	5. 材料物性工学専攻	6. 応用化学専攻	7. 建築社会基盤系専攻	8. 機械創造工学系専攻
全体		1,954 (100.0)	164 (8.4)	268 (13.7)	181 (9.3)	226 (11.6)	203 (10.4)	183 (9.4)	47 (2.4)	88 (4.5)
調査年度	1. 平成16年度	163 (100.0)	21 (12.9)	31 (19.0)	24 (14.7)	27 (16.6)	34 (20.9)	26 (16.0)	0 (-)	0 (-)
	2. 平成19年度	186 (100.0)	24 (12.9)	37 (19.9)	32 (17.2)	34 (18.3)	31 (16.7)	28 (15.1)	0 (-)	0 (-)
	3. 平成21年度	226 (100.0)	29 (12.8)	51 (22.6)	27 (11.9)	40 (17.7)	40 (17.7)	39 (17.3)	0 (-)	0 (-)
	4. 平成24年度	128 (100.0)	16 (12.5)	19 (14.8)	27 (21.1)	17 (13.3)	12 (9.4)	19 (14.8)	0 (-)	0 (-)
	5. 平成27年度	222 (100.0)	16 (7.2)	35 (15.8)	10 (4.5)	22 (9.9)	18 (8.1)	14 (6.3)	10 (4.5)	25 (11.3)
	6. 平成30年度	445 (100.0)	25 (5.6)	41 (9.2)	26 (5.8)	41 (9.2)	35 (7.9)	27 (6.1)	16 (3.6)	30 (6.7)
	7. 令和3年度	290 (100.0)	15 (5.2)	28 (9.7)	16 (5.5)	20 (6.9)	20 (6.9)	20 (6.9)	9 (3.1)	16 (5.5)
	8. 令和6年度	294 (100.0)	18 (6.1)	26 (8.8)	19 (6.5)	25 (8.5)	13 (4.4)	10 (3.4)	12 (4.1)	17 (5.8)

		合計	9. 応用理化学系専攻	10. 情報電子工学系専攻	11. 航空宇宙システム工学専攻	12. 公共システム工学専攻	13. 数理システム工学専攻	14. 環境創生工学系専攻	15. 生産システム工学系専攻	16. その他
全体		1,954 (100.0)	92 (4.7)	155 (7.9)	48 (2.5)	5 (0.3)	2 (0.1)	118 (6.0)	112 (5.7)	62 (3.2)
調査年度	1. 平成16年度	163 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	2. 平成19年度	186 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	3. 平成21年度	226 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	4. 平成24年度	128 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	18 (14.1)
	5. 平成27年度	222 (100.0)	24 (10.8)	21 (9.5)	15 (6.8)	2 (0.9)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	10 (4.5)
	6. 平成30年度	445 (100.0)	29 (6.5)	54 (12.1)	12 (2.7)	2 (0.4)	0 (-)	42 (9.4)	47 (10.6)	18 (4.0)
	7. 令和3年度	290 (100.0)	21 (7.2)	30 (10.3)	12 (4.1)	1 (0.3)	0 (-)	42 (14.5)	33 (11.4)	7 (2.4)
	8. 令和6年度	294 (100.0)	18 (6.1)	50 (17.0)	9 (3.1)	0 (-)	2 (0.7)	34 (11.6)	32 (10.9)	9 (3.1)

6-6. 本学の大学院博士前期課程（修士課程）修了者の職種

修士課程修了者の職種に関して、次ページ<これまでの調査との比較>でみると、全体として高い順に技術職が 85.7%、次いで総合職 29.9%、研究職 25.2%、営業職 3.4%、事務職 1.0% となっている。

<これまでの調査との比較>を参照し、修士課程修了者全体で平成 27 年度調査からの職種別の推移を鳥瞰すると、技術職は概ね 82%～92%の範囲で推移、研究職は平成 30 年度調査の 15%を除けば概ね 24%～25%、総合職は 25%～32%の範囲で推移、営業職は 3%～9%の範囲で推移している。

問6-6. 貴社での本学の大学院博士前期課程（修士課程）修了者の職種は一般にどの職種に該当しますか。該当職種をすべて選択してください（複数選択可）

	回答者数	合計	1. 営業職	2. 技術職	3. 事務職	4. 研究職	5. 総合職	6. その他	7. 無回答	
大学院博士前期課程（修士課程）修了者	1. 建設システム工学専攻	18 (100.0)	26 (144.4)	1 (5.6)	16 (88.9)	0 (-)	2 (11.1)	6 (33.3)	1 (5.6)	0 (-)
	2. 機械システム工学専攻	26 (100.0)	40 (153.8)	2 (7.7)	21 (80.8)	0 (-)	6 (23.1)	9 (34.6)	2 (7.7)	0 (-)
	3. 情報工学専攻	19 (100.0)	24 (126.3)	0 (-)	17 (89.5)	0 (-)	3 (15.8)	3 (15.8)	1 (5.3)	0 (-)
	4. 電気電子工学専攻	25 (100.0)	38 (152.0)	2 (8.0)	21 (84.0)	0 (-)	9 (36.0)	6 (24.0)	0 (-)	0 (-)
	5. 材料物性工学専攻	13 (100.0)	24 (184.6)	0 (-)	12 (92.3)	0 (-)	6 (46.2)	6 (46.2)	0 (-)	0 (-)
	6. 応用化学専攻	10 (100.0)	18 (180.0)	0 (-)	8 (80.0)	0 (-)	4 (40.0)	6 (60.0)	0 (-)	0 (-)
	7. 建築社会基盤系専攻	12 (100.0)	19 (158.3)	1 (8.3)	10 (83.3)	1 (8.3)	3 (25.0)	4 (33.3)	0 (-)	0 (-)
	8. 機械創造工学系専攻	17 (100.0)	24 (141.2)	0 (-)	15 (88.2)	0 (-)	4 (23.5)	4 (23.5)	1 (5.9)	0 (-)
	9. 応用理化学系専攻	18 (100.0)	31 (172.2)	1 (5.6)	16 (88.9)	0 (-)	5 (27.8)	8 (44.4)	1 (5.6)	0 (-)
	10. 情報電子工学系専攻	50 (100.0)	65 (130.0)	1 (2.0)	46 (92.0)	0 (-)	8 (16.0)	9 (18.0)	1 (2.0)	0 (-)
	11. 航空宇宙システム工学専攻	9 (100.0)	16 (177.8)	0 (-)	9 (100.0)	0 (-)	3 (33.3)	4 (44.4)	0 (-)	0 (-)
	12. 公共システム工学専攻	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	13. 数理システム工学専攻	2 (100.0)	4 (200.0)	0 (-)	2 (100.0)	0 (-)	1 (50.0)	1 (50.0)	0 (-)	0 (-)
	14. 環境創生工学系専攻	34 (100.0)	46 (135.3)	1 (2.9)	24 (70.6)	1 (2.9)	10 (29.4)	10 (29.4)	0 (-)	0 (-)
	15. 生産システム工学系専攻	32 (100.0)	49 (153.1)	1 (3.1)	28 (87.5)	0 (-)	9 (28.1)	10 (31.3)	1 (3.1)	0 (-)
	16. その他	9 (100.0)	11 (122.2)	0 (-)	7 (77.8)	1 (11.1)	1 (11.1)	2 (22.2)	0 (-)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合

【その他（自由記述）】

問 6-6. 貴社での本学の大学院博士前期課程（修士課程）修了者の職種は一般にどの職種に該当しますか。該当職種をすべて選択してください（複数選択可） 6. その他
経営
システムエンジニア
代表取締役
設計職
品質保証
開発職
施工管理職
SE、管理職

<これまでの調査との比較>

問6-6. 貴社での本学の大学院博士前期課程（修士課程）修了者の職種は一般にどの職種に該当しますか。該当職種をすべて選択してください（複数選択可）

	回答者数	合計	1. 営業職	2. 技術職	3. 事務職	4. 研究職	5. 総合職	6. その他	7. 無回答	
全体	1,954 (100.0)	2,943 (150.6)	134 (6.9)	1,682 (86.1)	66 (3.4)	466 (23.8)	513 (26.3)	54 (2.8)	28 (1.4)	
調査年度	1. 平成16年度	163 (100.0)	224 (137.4)	9 (5.5)	140 (85.9)	1 (0.6)	52 (31.9)	19 (11.7)	1 (0.6)	2 (1.2)
	2. 平成19年度	186 (100.0)	294 (158.1)	14 (7.5)	157 (84.4)	8 (4.3)	55 (29.6)	45 (24.2)	10 (5.4)	5 (2.7)
	3. 平成21年度	226 (100.0)	346 (153.1)	19 (8.4)	201 (88.9)	1 (0.4)	73 (32.3)	44 (19.5)	6 (2.7)	2 (0.9)
	4. 平成24年度	128 (100.0)	184 (143.8)	11 (8.6)	110 (85.9)	11 (8.6)	18 (14.1)	31 (24.2)	1 (0.8)	2 (1.6)
	5. 平成27年度	222 (100.0)	334 (150.5)	8 (3.6)	200 (90.1)	9 (4.1)	54 (24.3)	55 (24.8)	3 (1.4)	5 (2.3)
	6. 平成30年度	445 (100.0)	692 (155.5)	39 (8.8)	385 (86.5)	30 (6.7)	70 (15.7)	141 (31.7)	20 (4.5)	7 (1.6)
	7. 令和3年度	290 (100.0)	434 (149.7)	24 (8.3)	237 (81.7)	3 (1.0)	70 (24.1)	90 (31.0)	5 (1.7)	5 (1.7)
	8. 令和6年度	294 (100.0)	435 (148.0)	10 (3.4)	252 (85.7)	3 (1.0)	74 (25.2)	88 (29.9)	8 (2.7)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合

6-7. 本学の大学院博士後期課程修了者の雇用人数

6-8. 本学の大学院博士後期課程修了者の該当する専攻

下段<これまでの調査との比較>でみると、大学院博士後期課程修了者の雇用があるのは16社。内13社が一人と回答している。

問6-7. 現在、貴社に雇用されている本学の大学院博士後期課程修了者の数をご記入ください。

		合計	1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人以上	6. 無回答
6 8 大 学 院 博 士 後 期 課 程 修 了 者	1. 建設工学専攻	4 (100.0)	3 (75.0)	1 (25.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	2. 生産情報システム工学専攻	4 (100.0)	4 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	3. 物質工学専攻	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	4. 創成機能科学専攻	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 建設環境工学専攻	2 (100.0)	1 (50.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0)
	6. 航空宇宙システム工学専攻	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	7. 創成機能工学専攻	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	8. 工学専攻	6 (100.0)	5 (83.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (16.7)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合

<これまでの調査との比較>

問6-7. 現在、貴社に雇用されている本学の大学院博士後期課程修了者の数をご記入ください。

	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
平成16年度(7)	42.9	57.1	—	—	—	—
平成19年度(14)	64.3	28.6	—	—	—	7.1
平成21年度(15)	80.0	13.3	—	6.7	—	—
平成24年度(5)	80.0	20.0	—	—	—	—
平成27年度(2)	—	100.0	—	—	—	—
平成30年度(15)	46.7	46.7	—	—	—	6.7
令和3年度(9)	88.9	—	11.1	—	—	—
令和6年度(16)	81.3	6.3	—	—	6.3	6.3

<これまでの調査との比較>

問6-8. 現在、貴社に雇用されている本学の大学院博士後期課程修了者の該当する専攻をすべて選択してください（複数選択可）。

	合 計	1. 建設工学 専攻	2. 生産情報 システム 工学専攻	3. 物質工学 専攻	4. 創成機能 科学専攻	5. 建設環境 工学専攻	6. 航空宇宙 システム 工学専攻	7. 創成機能 工学専攻	8. 工学専攻	
全 体	83 (100.0)	29 (34.9)	30 (36.1)	4 (4.8)	5 (6.0)	3 (3.6)	2 (2.4)	0 (-)	10 (12.0)	
調 査 年 度	1. 平成16年度	7 (100.0)	4 (57.1)	2 (28.6)	1 (14.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	
	2. 平成19年度	14 (100.0)	8 (57.1)	4 (28.6)	1 (7.1)	1 (7.1)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	
	3. 平成21年度	15 (100.0)	6 (40.0)	7 (46.7)	1 (6.7)	1 (6.7)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	
	4. 平成24年度	5 (100.0)	1 (20.0)	2 (40.0)	0 (-)	2 (40.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	
	5. 平成27年度	2 (100.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	
	6. 平成30年度	15 (100.0)	5 (33.3)	5 (33.3)	0 (-)	1 (6.7)	1 (6.7)	0 (-)	0 (-)	3 (20.0)
	7. 令和3年度	9 (100.0)	0 (-)	5 (55.6)	1 (11.1)	0 (-)	0 (-)	2 (22.2)	0 (-)	1 (11.1)
	8. 令和6年度	16 (100.0)	4 (25.0)	4 (25.0)	0 (-)	0 (-)	2 (12.5)	0 (-)	0 (-)	6 (37.5)

注:()内はサンプル数を100とした割合

6-9. 本学の大学院博士後期課程修了者の職種

回答企業における大学院博士後期課程修了者の16名の職種は下図表のとおりである。

問6-9. 貴社での本学の大学院博士後期課程修了者の職種は一般にどの職種に該当しますか。該当職種をすべて選択してください（複数選択可）

		回答者数	合計	1. 営業職	2. 技術職	3. 事務職	4. 研究職	5. 総合職	6. その他	7. 無回答
6-8 大学院博士後期課程修了者	1. 建設工学専攻	4 (100.0)	4 (100.0)	0 (-)	1 (25.0)	0 (-)	0 (-)	2 (50.0)	1 (25.0)	0 (-)
	2. 生産情報システム工学専攻	4 (100.0)	4 (100.0)	0 (-)	2 (50.0)	0 (-)	0 (-)	1 (25.0)	1 (25.0)	0 (-)
	3. 物質工学専攻	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	4. 創成機能科学専攻	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 建設環境工学専攻	2 (100.0)	2 (100.0)	0 (-)	2 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	6. 航空宇宙システム工学専攻	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	7. 創成機能工学専攻	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	8. 工学専攻	6 (100.0)	6 (100.0)	0 (-)	2 (33.3)	0 (-)	2 (33.3)	0 (-)	2 (33.3)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合

【その他（自由記述）】

問6-9. 貴社での本学の大学院博士後期課程修了者の職種は一般にどの職種に該当しますか。該当職種をすべて選択してください（複数選択可） 6. その他
役員
取締役執行役員
役員
管理職

<これまでの調査との比較>

問6-9. 貴社での本学の大学院博士後期課程修了者の職種は一般にどの職種に該当しますか。該当職種をすべて選択してください（複数選択可）

		回答者数	合計	1. 営業職	2. 技術職	3. 事務職	4. 研究職	5. 総合職	6. その他	7. 無回答
全体		83 (100.0)	103 (124.1)	2 (2.4)	55 (66.3)	1 (1.2)	19 (22.9)	19 (22.9)	4 (4.8)	3 (3.6)
調査年度	1. 平成16年度	7 (100.0)	13 (185.7)	0 (-)	5 (71.4)	0 (-)	5 (71.4)	3 (42.9)	0 (-)	0 (-)
	2. 平成19年度	14 (100.0)	18 (128.6)	2 (14.3)	10 (71.4)	0 (-)	2 (14.3)	2 (14.3)	0 (-)	2 (14.3)
	3. 平成21年度	15 (100.0)	17 (113.3)	0 (-)	9 (60.0)	1 (6.7)	2 (13.3)	4 (26.7)	0 (-)	1 (6.7)
	4. 平成24年度	5 (100.0)	5 (100.0)	0 (-)	5 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 平成27年度	2 (100.0)	4 (200.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (100.0)	2 (100.0)	0 (-)	0 (-)
	6. 平成30年度	15 (100.0)	20 (133.3)	0 (-)	11 (73.3)	0 (-)	5 (33.3)	4 (26.7)	0 (-)	0 (-)
	7. 令和3年度	9 (100.0)	10 (111.1)	0 (-)	8 (88.9)	0 (-)	1 (11.1)	1 (11.1)	0 (-)	0 (-)
	8. 令和6年度	16 (100.0)	16 (100.0)	0 (-)	7 (43.8)	0 (-)	2 (12.5)	3 (18.8)	4 (25.0)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合

8. 教育目標に関連して、本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想

学部卒業生全体で、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた肯定的意見の割合を見てみると、11項目中以下の4項目を除く7項目が90%以上の高い肯定割合となっている。

- ・「職場でリーダーシップを発揮したり、部下指導などに優れた卒業生が多い」82.4%
- ・「IT(情報技術)の知識やスキルを身につけた卒業生が多い」78.0%
- ・「専門分野だけでなく社会全般の情勢や問題に対する興味・関心を持っている卒業生が多い」74.8%
- ・「国際感覚を身につけた卒業生が多い」38.4%

次ページには、学部卒業生全体で、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた肯定的意見の割合が高い順位並び替えしたグラフを掲載している。

<これまでの調査との比較>の結果にみるように、全ての項目において肯定的割合は増加傾向にあるといえよう。

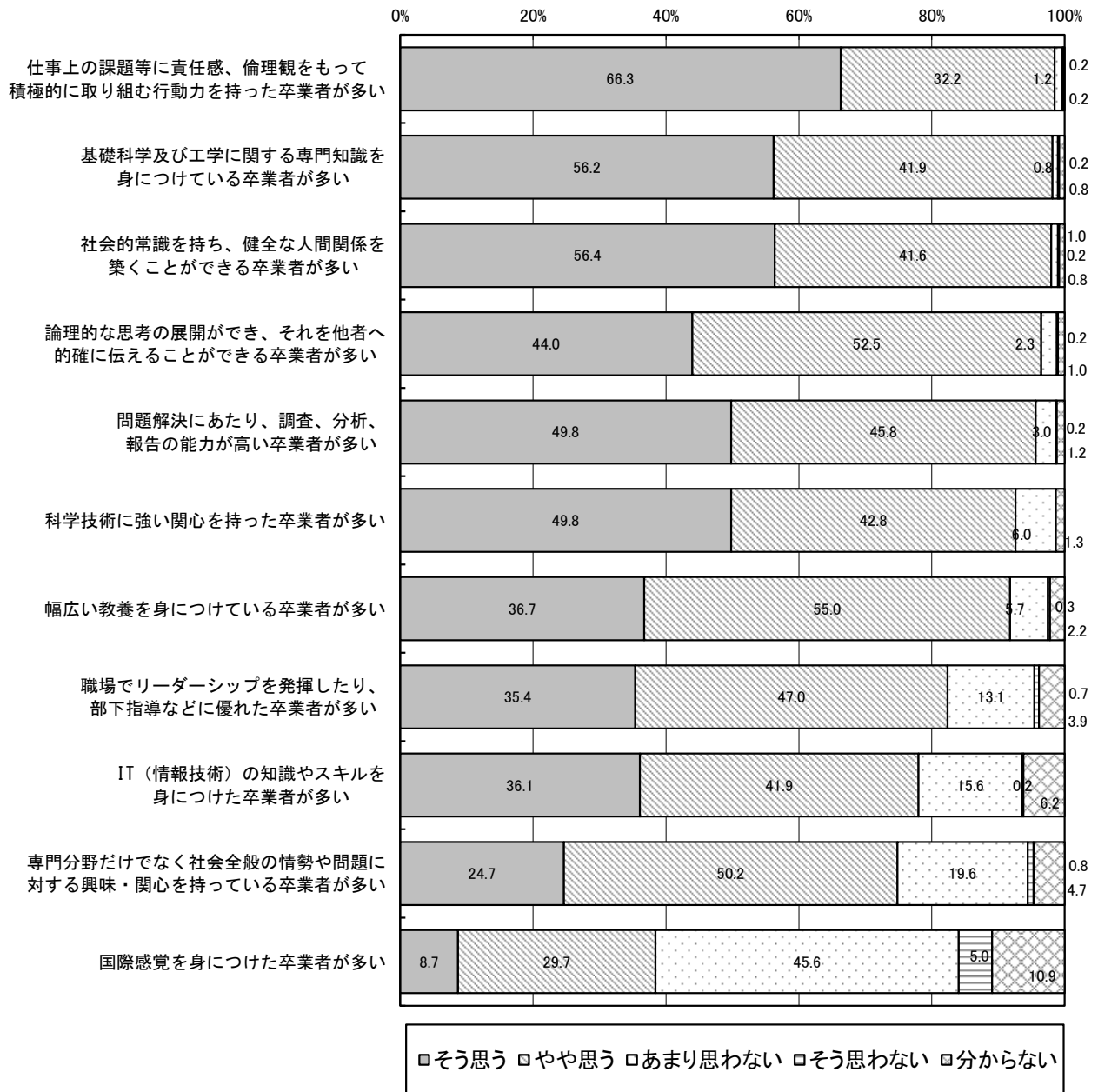
問8. 教育目標に関連して、本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想をお伺いします。

[学部卒業生全体] (述べ回答数)

	合計	1. そう思う	2. やや思う	3. あまり思 わない	4. そう思わ ない	5. 分からな い	1+2 そう思う+ やや思う
問8-1. 科学技術に強い関心を持った卒業生が多い	596 (100.0)	297 (49.8)	255 (42.8)	36 (6.0)	0 (-)	8 (1.3)	552 (92.6)
問8-2. 幅広い教養を身につけている卒業生が多い	596 (100.0)	219 (36.7)	328 (55.0)	34 (5.7)	2 (0.3)	13 (2.2)	547 (91.8)
問8-3. 基礎科学及び工学に関する専門知識を身につけている卒業生が多い	596 (100.0)	335 (56.2)	250 (41.9)	5 (0.8)	1 (0.2)	5 (0.8)	585 (98.2)
問8-4. 国際感覚を身につけた卒業生が多い	596 (100.0)	52 (8.7)	177 (29.7)	272 (45.6)	30 (5.0)	65 (10.9)	229 (38.4)
問8-5. 論理的な思考の展開ができ、それを他者へ的確に伝えることができる卒業生が多い	596 (100.0)	262 (44.0)	313 (52.5)	14 (2.3)	1 (0.2)	6 (1.0)	575 (96.5)
問8-6. 社会的常識を持ち、健全な人間関係を築くことができる卒業生が多い	596 (100.0)	336 (56.4)	248 (41.6)	6 (1.0)	1 (0.2)	5 (0.8)	584 (98.0)
問8-7. 仕事上の課題等に責任感、倫理観をもって積極的に取り組む行動力を持った卒業生が多い	596 (100.0)	395 (66.3)	192 (32.2)	7 (1.2)	1 (0.2)	1 (0.2)	587 (98.5)
問8-8. 問題解決にあたり、調査、分析、報告の能力が高い卒業生が多い	596 (100.0)	297 (49.8)	273 (45.8)	18 (3.0)	1 (0.2)	7 (1.2)	570 (95.6)
問8-9. IT(情報技術)の知識やスキルを身につけた卒業生が多い	596 (100.0)	215 (36.1)	250 (41.9)	93 (15.6)	1 (0.2)	37 (6.2)	465 (78.0)
問8-10. 専門分野だけでなく社会全般の情勢や問題に対する興味・関心を持っている卒業生が多い	596 (100.0)	147 (24.7)	299 (50.2)	117 (19.6)	5 (0.8)	28 (4.7)	446 (74.8)
問8-11. 職場でリーダーシップを発揮したり、部下指導などに優れた卒業生が多い	596 (100.0)	211 (35.4)	280 (47.0)	78 (13.1)	4 (0.7)	23 (3.9)	491 (82.4)

注:()内はダブル数を100とした割合

[学部卒業生全体](述べ回答数)



<これまでの調査との比較>

問8. 教育目標に関連して、本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想 (1/2)

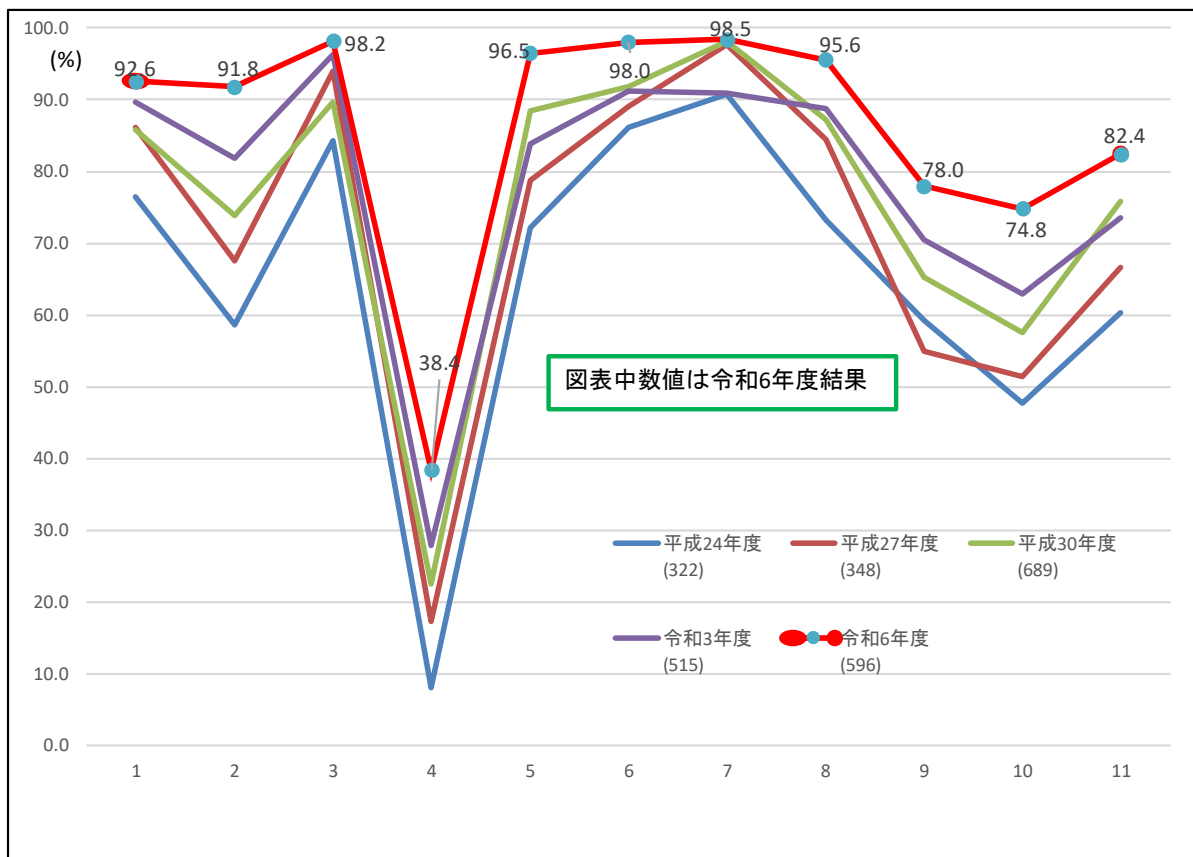
①学部卒業者 全体		そう思う	やや思う	あまり思 わない	そう思わ ない	分からな い	そう思う+ やや思う
問8-1. 科学技術に強い関 心を持った卒業者が多い	平成16年度(368)	33.1	51.0	9.1	1.4	5.5	84.0
	平成19年度(392)	29.0	54.1	11.4	1.0	4.4	83.2
	平成21年度(393)	24.0	59.0	7.3	1.3	8.4	83.0
	平成24年度(327)	19.9	56.5	13.0	1.2	9.3	76.4
	平成27年度(357)	33.0	53.2	6.9	—	6.9	86.2
	平成30年度(689)	29.8	56.0	8.3	0.1	5.8	85.8
	令和3年度(515)	40.1	49.5	5.6	—	4.8	89.6
	令和6年度(596)	49.8	42.8	6.0	—	1.3	92.6
問8-2. 幅広い教養を身に つけている卒業者が多い	平成16年度(368)	9.1	52.5	29.9	3.0	5.5	61.5
	平成19年度(392)	14.3	52.6	28.1	0.5	4.4	66.9
	平成21年度(393)	9.4	59.1	22.4	2.1	7.0	68.5
	平成24年度(327)	9.3	49.4	30.4	3.7	7.1	58.7
	平成27年度(357)	18.9	48.7	28.1	0.3	4.0	67.6
	平成30年度(689)	20.1	53.7	17.3	2.1	6.7	73.9
	令和3年度(515)	31.2	50.7	13.5	1.8	2.8	81.9
	令和6年度(596)	36.7	55.0	5.7	0.3	2.2	91.8
問8-3. 基礎科学及び工学 に関する専門知識を身に つけている卒業者が多い	平成16年度(368)	34.6	54.7	7.3	0.8	2.5	89.4
	平成19年度(392)	37.4	53.2	6.5	0.5	2.3	90.6
	平成21年度(393)	34.4	58.1	3.9	—	3.6	92.4
	平成24年度(327)	32.4	51.9	5.9	2.2	7.7	84.3
	平成27年度(357)	32.7	61.3	3.4	—	2.6	94.0
	平成30年度(689)	41.5	48.1	6.0	—	4.3	89.7
	令和3年度(515)	47.1	49.1	1.6	—	2.2	96.3
	令和6年度(596)	56.2	41.9	0.8	0.2	0.8	98.2
問8-4. 国際感覚を身に つけた卒業者が多い	平成16年度(368)	—	12.1	51.2	15.4	21.2	12.1
	平成19年度(392)	0.8	12.6	61.3	12.6	12.8	13.4
	平成21年度(393)	0.8	10.3	50.4	21.4	17.1	11.1
	平成24年度(327)	1.2	6.8	53.4	17.6	21.0	8.0
	平成27年度(357)	3.8	13.6	54.3	15.3	13.0	17.3
	平成30年度(689)	3.7	18.8	43.0	19.4	15.1	22.5
	令和3年度(515)	4.8	23.1	46.2	11.6	14.3	27.9
	令和6年度(596)	8.7	29.7	45.6	5.0	10.9	38.4
問8-5. 論理的な思考の展 開ができ、それを他者へ 的確に伝えることができる 卒業者が多い	平成16年度(368)	18.5	54.8	20.7	1.4	4.7	73.3
	平成19年度(392)	16.1	62.4	15.0	1.3	5.2	78.5
	平成21年度(393)	12.4	65.1	16.8	0.3	5.4	77.5
	平成24年度(327)	14.5	57.7	17.6	1.5	8.6	72.2
	平成27年度(357)	20.9	58.0	15.9	1.7	3.5	78.8
	平成30年度(689)	30.2	58.2	8.0	0.3	3.3	88.4
	令和3年度(515)	29.6	54.2	10.4	1.6	4.2	83.8
	令和6年度(596)	44.0	52.5	2.3	0.2	1.0	96.5
問8-6. 社会的常識を持 ち、健全な人間関係を築 くことができる卒業者が 多い	平成16年度(368)	22.0	63.2	10.4	0.3	4.1	85.2
	平成19年度(392)	33.4	56.0	8.0	0.3	2.3	89.4
	平成21年度(393)	25.3	64.3	5.2	0.5	4.7	89.7
	平成24年度(327)	24.9	61.2	7.4	3.1	3.4	86.2
	平成27年度(357)	34.1	55.0	8.6	—	2.3	89.1
	平成30年度(689)	40.0	51.9	6.2	0.1	1.8	91.9
	令和3年度(515)	43.2	47.9	5.9	2.0	1.0	91.2
	令和6年度(596)	56.4	41.6	1.0	0.2	0.8	98.0

問8. 教育目標に関連して、本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想 (1/2)

①学部卒業生 全体		そう思う	やや思う	あまり思 わない	そう思わ ない	分からな い	そう思う+ やや思う
問8-7. 仕事上の課題等に 責任感、倫理観をもって積 極的に取り組む行動力を 持った 卒業者が多い	平成16年度(368)	35.0	59.0	3.6	0.3	2.2	93.9
	平成19年度(392)	43.0	49.7	4.2	0.8	2.3	92.7
	平成21年度(393)	38.8	54.5	1.6	—	5.2	93.3
	平成24年度(327)	27.8	63.0	4.6	1.2	3.4	90.7
	平成27年度(357)	42.0	55.7	1.1	—	1.1	97.7
	平成30年度(689)	48.6	49.5	1.3	0.1	0.4	98.1
	令和3年度(515)	47.9	43.0	6.7	0.4	2.0	90.9
	令和6年度(596)	66.3	32.2	1.2	0.2	0.2	98.5
問8-8. 問題解決にあたり、調査、分析、報告の 能力が高い卒業者が多い	平成16年度(368)	20.9	55.5	18.7	0.3	4.7	76.4
	平成19年度(392)	22.0	66.6	8.0	0.3	3.1	88.6
	平成21年度(393)	20.7	60.5	10.6	0.3	8.0	81.1
	平成24年度(327)	14.8	58.5	15.4	1.5	9.8	73.2
	平成27年度(357)	26.7	57.8	12.1	—	3.4	84.5
	平成30年度(689)	30.1	57.2	8.3	0.4	4.0	87.3
	令和3年度(515)	35.3	53.5	7.3	1.4	2.6	88.8
	令和6年度(596)	49.8	45.8	3.0	0.2	1.2	95.6
問8-9. IT(情報技術)の 知識やスキルを身につけた 卒業者が多い	平成16年度(368)	15.5	59.0	17.2	1.7	6.6	74.5
	平成19年度(392)	22.3	45.3	26.2	1.3	4.9	67.6
	平成21年度(393)	18.6	47.5	19.1	—	14.7	66.1
	平成24年度(327)	17.9	41.4	26.9	1.9	12.0	59.3
	平成27年度(357)	18.4	36.5	31.3	2.0	11.8	54.9
	平成30年度(689)	18.1	47.1	22.5	3.4	8.9	65.2
	令和3年度(515)	27.0	43.5	21.9	1.8	5.9	70.5
	令和6年度(596)	36.1	41.9	15.6	0.2	6.2	78.0
問8-10. 専門分野だけでなく社会全般の情勢や問題に 対する興味・関心を持っている 卒業者が多い	平成16年度(368)	6.7	40.6	35.8	2.5	14.4	47.2
	平成19年度(392)	8.0	56.0	28.0	2.8	5.2	64.0
	平成21年度(393)	7.0	41.9	30.7	3.9	16.5	48.8
	平成24年度(327)	7.1	40.6	35.1	3.7	13.5	47.7
	平成27年度(357)	12.1	39.4	34.8	1.7	12.1	51.4
	平成30年度(689)	12.6	44.9	27.7	2.5	12.3	57.5
	令和3年度(515)	20.4	42.4	26.7	4.7	5.7	62.9
	令和6年度(596)	24.7	50.2	19.6	0.8	4.7	74.8
問8-11. 職場でリーダー シップを発揮したり、部下 指導などに優れた卒業者が 多い	平成16年度(368)	16.5	43.0	31.7	2.2	6.6	59.5
	平成19年度(392)	17.1	53.4	22.3	1.6	5.7	70.5
	平成21年度(393)	13.2	56.3	20.9	1.8	7.8	69.5
	平成24年度(327)	10.6	49.7	24.8	1.9	13.0	60.2
	平成27年度(357)	20.7	46.0	22.7	1.1	9.5	66.7
	平成30年度(689)	24.8	51.1	14.6	2.8	6.6	75.9
	令和3年度(515)	24.8	48.8	19.0	2.4	5.0	73.6
	令和6年度(596)	35.4	47.0	13.1	0.7	3.9	82.4

【参考】本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想

(「そう思う」+「やや思う」の合計割合：過去調査比較) ※折線グラフは平成24年度以降



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
()は回答企業延数											
平成16年度 (363)	84.0	61.5	89.4	12.1	73.3	85.2	93.9	76.4	74.5	47.2	59.5
平成19年度 (386)	83.2	66.9	90.6	13.4	78.5	89.4	92.7	88.6	67.6	64.0	70.5
平成21年度 (383)	83.0	68.5	92.4	11.1	77.5	89.7	93.3	81.1	66.1	48.8	69.5
平成24年度 (322)	76.4	58.7	84.3	8.0	72.2	86.2	90.7	73.2	59.3	47.7	60.2
平成27年度 (348)	86.2	67.6	94.0	17.3	78.8	89.1	97.7	84.5	54.9	51.4	66.7
平成30年度 (689)	85.8	73.9	89.7	22.5	88.4	91.9	98.1	87.3	65.2	57.5	75.9
令和3年度 (515)	89.6	81.9	96.3	27.9	83.8	91.2	90.9	88.8	70.5	62.9	73.6
令和6年度 (596)	92.6	91.8	98.2	38.4	96.5	98.0	98.5	95.6	78.0	74.8	82.4

9. 本学の学生への教育活動についての印象

本学の学生への教育活動について、次ページくこれまでの調査との比較>でみると「全体として熱心だと感じる」「どちらかといえば熱心だと感じる」の肯定的意見は全体として94.5%。

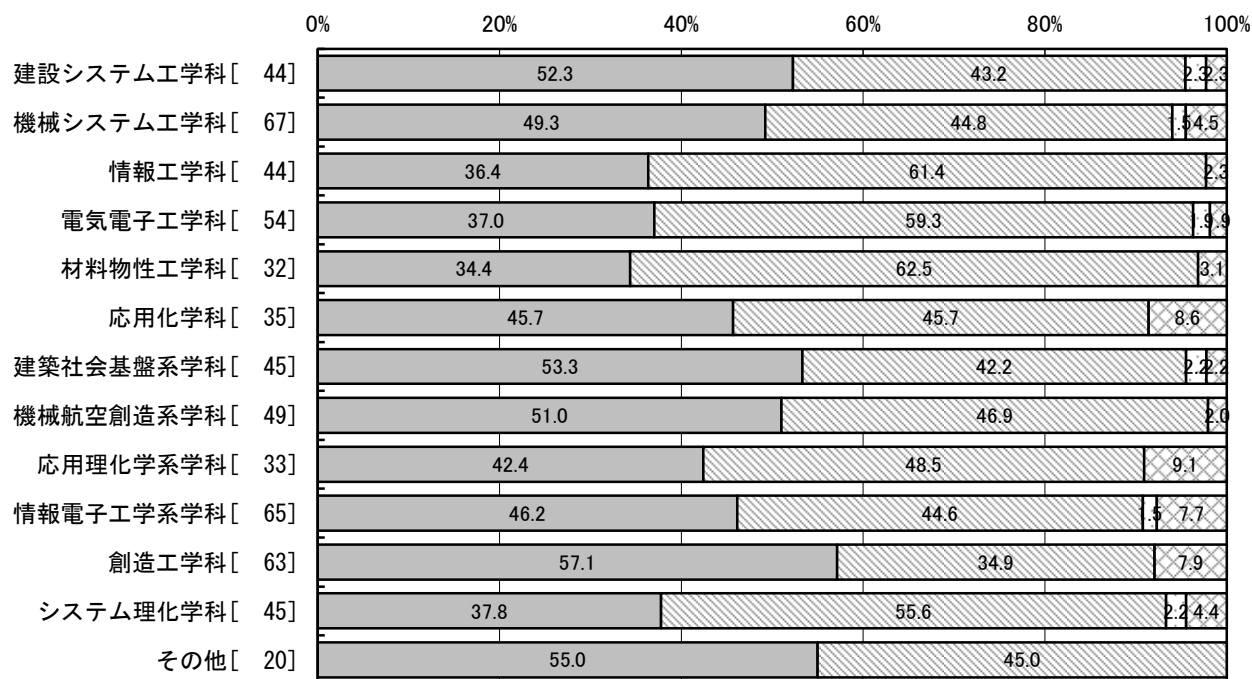
<これまでの調査との比較>でみると、「全体として熱心だと感じる」「どちらかといえば熱心だと感じる」の肯定的意見の割合はこれまでで最も高くなっている。また、平成27年度以降の調査で90%以上となっている。

問9. 卒業生からの印象やあなたがご存じの範囲で、本学の学生への教育活動について、どう感じておられますか。

	合計	1. 全体として熱心だと感じる	2. どちらかといえば熱心だと感じる	3. あまり熱心とは感じない	4. 熱心であると感じない	5. 何ともいえない、わからない	6. 無回答	1+2 全体として熱心だと感じる+どちらかといえば熱心だと感じる
①学部卒業生								
1. 建設システム工学科	44 (100.0)	23 (52.3)	19 (43.2)	1 (2.3)	0 (-)	1 (2.3)	0 (-)	42 (95.5)
2. 機械システム工学科	67 (100.0)	33 (49.3)	30 (44.8)	1 (1.5)	0 (-)	3 (4.5)	0 (-)	63 (94.0)
3. 情報工学科	44 (100.0)	16 (36.4)	27 (61.4)	0 (-)	0 (-)	1 (2.3)	0 (-)	43 (97.7)
4. 電気電子工学科	54 (100.0)	20 (37.0)	32 (59.3)	1 (1.9)	0 (-)	1 (1.9)	0 (-)	52 (96.3)
5. 材料物性工学科	32 (100.0)	11 (34.4)	20 (62.5)	0 (-)	0 (-)	1 (3.1)	0 (-)	31 (96.9)
6. 応用化学科	35 (100.0)	16 (45.7)	16 (45.7)	0 (-)	0 (-)	3 (8.6)	0 (-)	32 (91.4)
7. 建築社会基盤系学科	45 (100.0)	24 (53.3)	19 (42.2)	1 (2.2)	0 (-)	1 (2.2)	0 (-)	43 (95.6)
8. 機械航空創造系学科	49 (100.0)	25 (51.0)	23 (46.9)	0 (-)	0 (-)	1 (2.0)	0 (-)	48 (98.0)
9. 応用理化学系学科	33 (100.0)	14 (42.4)	16 (48.5)	0 (-)	0 (-)	3 (9.1)	0 (-)	30 (90.9)
10. 情報電子工学系学科	65 (100.0)	30 (46.2)	29 (44.6)	1 (1.5)	0 (-)	5 (7.7)	0 (-)	59 (90.8)
11. 創造工学科	63 (100.0)	36 (57.1)	22 (34.9)	0 (-)	0 (-)	5 (7.9)	0 (-)	58 (92.1)
12. システム理化学科	45 (100.0)	17 (37.8)	25 (55.6)	1 (2.2)	0 (-)	2 (4.4)	0 (-)	42 (93.3)
13. その他	20 (100.0)	11 (55.0)	9 (45.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	20 (100.0)

注：()内はサンプル数を100とした割合

問9. 卒業生からの印象やあなたがご存じの範囲で、本学の学生への教育活動について、どう感じておられますか。



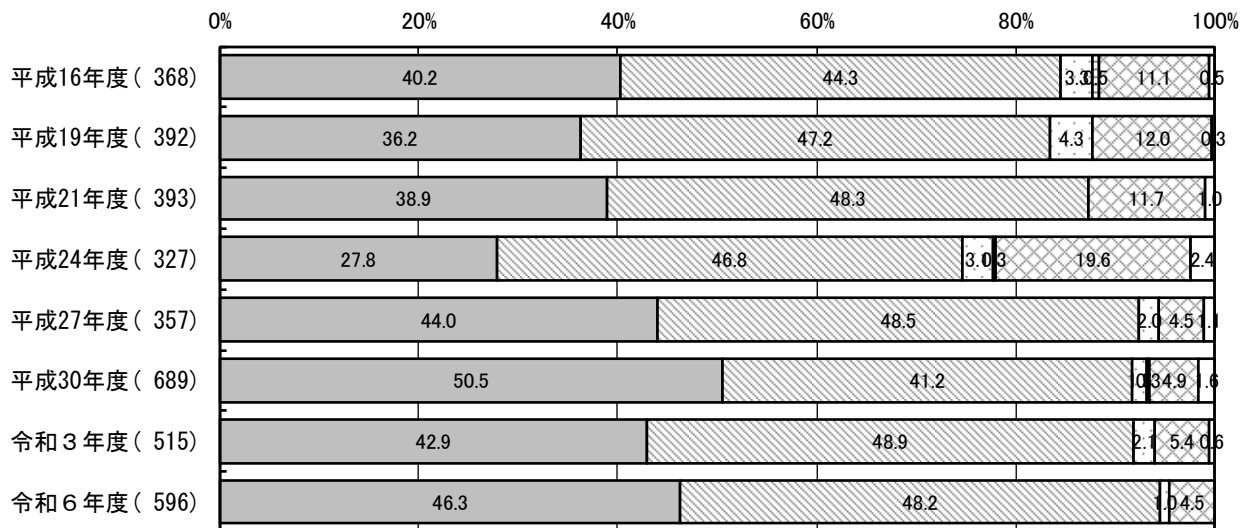
全体として熱心だと感じる
 どちらかといえば熱心だと感じる
 あまり熱心とは感じない
 熱心であると感じない
 何ともいえない、わからない
 無回答

<これまでの調査との比較>

問9. 卒業者からの印象やあなたがお存じの範囲で、本学の学生への教育活動について、どう感じておられますか。

	全体として熱心だと感じる	どちらかといえば熱心だと感じる	あまり熱心とは感じない	熱心であると感じない	何ともいえない、わからない	無回答	全体として熱心だと感じる+どちらかといえば熱心だと感じる
平成16年度(368)	40.2	44.3	3.3	0.5	11.1	0.5	84.5
平成19年度(392)	36.2	47.2	4.3	—	12.0	0.3	83.4
平成21年度(393)	38.9	48.3	—	—	11.7	1.0	87.3
平成24年度(327)	27.8	46.8	3.1	0.3	19.6	2.4	74.6
平成27年度(357)	44.0	48.5	2.0	—	4.5	1.1	92.4
平成30年度(689)	50.5	41.2	1.5	0.3	4.9	1.6	91.7
令和3年度(515)	42.9	48.9	2.1	—	5.4	0.6	91.8
令和6年度(596)	46.3	48.2	1.0	—	4.5	—	94.5

問9. 卒業者からの印象やあなたがお存じの範囲で、本学の学生への教育活動について、どう感じておられますか。



- 全体として熱心だと感じる
- どちらかといえば熱心だと感じる
- あまり熱心とは感じない
- 熱心であると感じない
- 何ともいえない、わからない
- 無回答

10. 今後、本学に希望する教育内容

今後、本学に望む教育内容としては、学科により若干の濃淡もあるが、9学科において30%以上の選択があったのは「技術者、研究者としての誇りや意欲を高め社会へ貢献できる人間を目指した教育」、次いで7学科から選択のあった「コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力のような一般的な能力を養うカリキュラム」が顕著に高くなっている。

問10. これからの室蘭工業大学の教育にどのようなことを望みますか。下記の選択肢から選んでください（3つ以内）。

	合 計	1. キもつと広い教養が身につくようなカリ	2. 専門的業務的な能力が身につくようなカリ	3. 技術者、研究者としての誇りや意欲を高め、社会へ貢献できる人間を目指す	4. インターシッブの充実	5. 語学力をつける授業の充実	6. コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を養うカリキュラム	7. 直接資格取得に結びつくカリキュラム	8. その他	9. 無回答	
※30%以上のセルに網掛けをした											
①学部卒業生	1. 建設システム工学科	44 (100.0)	4 (9.1)	5 (11.4)	18 (40.9)	2 (4.5)	0 (-)	11 (25.0)	1 (2.3)	3 (6.8)	0 (-)
	2. 機械システム工学科	67 (100.0)	7 (10.4)	23 (34.3)	15 (22.4)	2 (3.0)	0 (-)	18 (26.9)	1 (1.5)	1 (1.5)	0 (-)
	3. 情報工学科	44 (100.0)	1 (2.3)	11 (25.0)	15 (34.1)	0 (-)	0 (-)	15 (34.1)	0 (-)	2 (4.5)	0 (-)
	4. 電気電子工学科	54 (100.0)	3 (5.6)	13 (24.1)	16 (29.6)	2 (3.7)	0 (-)	20 (37.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 材料物性工学科	32 (100.0)	3 (9.4)	6 (18.8)	10 (31.3)	1 (3.1)	0 (-)	12 (37.5)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	6. 応用化学科	35 (100.0)	3 (8.6)	8 (22.9)	16 (45.7)	1 (2.9)	0 (-)	7 (20.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	7. 建築社会基盤系学科	45 (100.0)	1 (2.2)	5 (11.1)	22 (48.9)	3 (6.7)	0 (-)	12 (26.7)	1 (2.2)	1 (2.2)	0 (-)
	8. 機械航空創造系学科	49 (100.0)	3 (6.1)	13 (26.5)	16 (32.7)	2 (4.1)	0 (-)	15 (30.6)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	9. 応用理化学系学科	33 (100.0)	3 (9.1)	7 (21.2)	15 (45.5)	1 (3.0)	0 (-)	7 (21.2)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	10. 情報電子工学系学科	65 (100.0)	3 (4.6)	18 (27.7)	23 (35.4)	1 (1.5)	0 (-)	20 (30.8)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	11. 創造工学科	63 (100.0)	4 (6.3)	12 (19.0)	23 (36.5)	3 (4.8)	0 (-)	19 (30.2)	0 (-)	2 (3.2)	0 (-)
	12. システム理化学科	45 (100.0)	0 (-)	11 (24.4)	11 (24.4)	1 (2.2)	0 (-)	19 (42.2)	2 (4.4)	1 (2.2)	0 (-)
	13. その他	20 (100.0)	0 (-)	2 (10.0)	8 (40.0)	0 (-)	1 (5.0)	8 (40.0)	0 (-)	1 (5.0)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合

11. 本学全般についてのご意見、ご要望（自由記述）

以下のとおり、本学全般についての意見や要望等の記載をいただいた。

問11. その他、本学全般について、ご意見、ご要望などがあれば自由にお書きください。	問6-2. 学部卒業生												
	建設工学科	機械システム工学科	情報工学科	電気電子工学科	材料物性工学科	応用化学科	建築社会基盤系学科	機械航空創造系学科	応用理化学系学科	情報電子工学系学科	創造工学科	システム理化学科	その他
いつもありがとうございます。御校の卒業生は皆活躍しております。引き続きご縁がありますようお願い申し上げます。	○						○				○		
いつも大変お世話になっております。貴校学生さんからの採用応募は大歓迎です。通年募集しておりますので、引き続き宜しくお願い致します。		○		○				○		○			
いつもお世話になっております。学生が本来の学生として学べる場の提供をお願いいたします。										○		○	○
いつも大変お世話になっております。例年、就職担当教授様とのご面談や、各種セミナーへ参加させていただき誠にありがとうございます。今期ならびに引き続き貴校の優秀な学生様の採用を継続していきたい所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。										○	○	○	
いつも大変お世話になっております。弊社には毎年1～2名ほど貴学の学生が入社しております。情報系のスキルを持った方もいれば、畑違いの分野からIT業界に飛び込む方もおりますが、皆さん熱心に業務に取り組まれている印象です。今後もぜひ学部生、修士学生共に接点を持っていきたいと考えておりますので、引き続き何卒よろしくお願い致します。	○		○	○				○			○	○	
お世話になっております。非常に優秀な人材に恵まれ感謝致します。引き続き宜しくお願いいたします。												○	
引き続き、新卒採用や、インターン受入れに関し、ご協力いただけますと幸いです。よろしく申し上げます。										○		○	
引き続き貴学の優秀な学生様が弊社へご入社いただけますよう、ご支援いただければ幸いです。										○		○	
引き続き多くの卒業生が当社に入社していただきたいと思っております。			○	○		○				○	○		
学生の向学心、向上心の育成に積極的に努められており、卒業生を迎える産業界として、喜ばしい事と感じています♪												○	
学内のイベントなど、OG共に積極的に参加したいと思っておりますので、引き続きよろしく願います。												○	
学内説明会などの機会がありましたらご連絡いただけますと幸いです。	○	○	○	○	○		○	○	○	○			
活躍している社員が多く感じます。今後ともよろしく願います。			○			○				○			
企業と学生が参加できる採用のイベントを多く開催してください。			○			○				○			
基礎学力がしっかりしていることに魅力を感じている。北海道に貢献できる人材を北海道で活躍できるように指導いただきたい。国際感覚は重要と思うので、語学や情報収集力を高めるとなると良いと感じます。	○		○									○	
基礎学力が高く、入社後の伸びが高い卒業生が多い印象です。弊社の採用重点校となっております。弊社はITの会社でございまして、プログラミング知識やサーバネットワークの知識がベースとなります。弊社で必要な知識については貴学の卒業生にて入社時には高い低いがございますが、総じて基礎学力と理解力が高いため、入社後に必要な知識の習得は速く弊社としても期待しております。引き続きどうぞよろしく願います。		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
貴学からの卒業生は、弊社社員の17%を占めており、その中で中核をなす社員が3名もいます。中核社員以外も皆さんとても活躍されております。今後弊社も採用活動を今以上に強化し、貴学からの優秀な学生に一人でも多く入社いただきたいと思っております。今後ともどうぞよろしく願います。			○	○								○	
貴学出身者にはいつも助けられています。今後もコンスタントに採用を続けていきたいと考えています。		○						○				○	
貴学卒業生のなかには、管理職を務めている者も複数名おります。また、その他の在籍者も、社内でも活躍が期待される優秀な人材ですので、貴学卒業生の採用は引き続きお願いしたいと考えております。今後ともよろしく願います。		○						○					
貴学卒業生の皆さんは、優秀な方が多く見受けられますので、今後とも御縁がありましたら引き続き採用させていただきたく存じます。何卒よろしく願います。	○		○	○				○					
貴校の学生をご紹介いただけますよう、引き続きどうぞよろしく願います。												○	
技術に興味があり個人での作業が得意な学生が多い印象です。コミュニケーション面に課題があり、チーム課題を通して改善はされているが、コミュニケーションをどのように良くすれば改善できるか学んでいないので自己流での改善しかできていない学生をよく見ます。元々は技術に興味があり、知識も学んでいるのでそこをよければすぐに就職活動や社会生活で苦労なくなるのでカリキュラムや教育体制等の改善を願っています。				○						○			
現在は本人の希望に沿って就職しているため、同一学年で同じ職場に何人も入社するケースが散見されます。これは本人にとっても学校にとってもベストな選定とは言えないと思います。個人を尊重しつつ可能な範囲で1会社に集中しないような指導も必用だと思います。	○							○				○	○

問11. その他、本学全般について、ご意見、ご要望などがあれば自由にお書きください。	問6-2. 学部卒業者												
	建設工学科	機械システム工学科	情報工学科	電気電子工学科	材料物性工学科	応用化学科	建築社会基盤系学科	機械航空創造系学科	応用理化学系学科	情報電子工学系学科	創造工学科	システム理化学科	その他
合同企業説明会、単独説明会、業界説明会など、チャンスがありましたら是非ご連絡お待ちしております。												○	
合同企業説明会等に参加させていただけたら大変嬉しいなと思います。企業数に限りがあるかとは思いますが、是非弊社もよろしくお願ひいたします。						○	○						
今後ぜひ採用したいと考えています。学生のご紹介をよろしくお願ひします。			○	○						○			○
今後も貴学の優秀な学生の採用を是非継続していきたい。 人事担当目線では、就職活動中の学生へのサポートをより充実させていただいた方が、より学生の評価は高まると考える。(他校比較において、学生の就職活動への意識や意欲、マナーなど、対企業とのコミュニケーション上での課題感はある)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
今後も北海道の発展に寄与する人材の輩出をお願ひいたします。		○	○	○	○					○			
受験会場が愛知県にもあるので、学生向けに、Uターン就活のイベントを企画頂けると助かります。													
秋田県出身で機械設計に興味がある学生の方がいらっしやれば是非ともご紹介お願ひ申し上げます。								○					
人材育成、採用において大変お世話になっております。 貴学学生は、伸び代があり、人としてのスキルが高い方ばかりです。 引き続き、人材育成の場でも協力させていただければと存じます。		○	○	○				○		○	○		
先生ともっとコミュニケーションが取れる場を用意してほしい 学業に力を入れている学生とそうじゃない学生の差が大きく感じる 一般的に勉強熱心な方が多いので弊社では学生の受け入れを積極的にしております。 弊社に入社したい方がいれば是非お願ひ致します。	○	○	○										
卒業生が多く活躍しておりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。		○	○	○									
卒業生の皆様には弊社の優秀な人材として日々活躍いただいております。 近年の採用活動においても採用実績があり、今後とも期待したいと考えております。 何卒よろしくお願ひ申し上げます。		○	○	○	○			○	○				
多くのご卒業生にご活躍いただき、今後も期待しております。引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。		○	○	○	○	○		○		○	○		
体育館で実施される、合同業界研究会について、出展企業数、開催回数ともに増やしていきたい	○										○		
地方の中小企業のため、弊社を知らない学生さんが大半です。 合同企業説明会、会社案内配布、動画配信等、何でもいいので、企業PRの機会を増やしていただけるとありがたいです。	○	○					○						
当社に入社したOBは、適応力が高く、様々な事業(原子力関連、医療系など)で活躍しております。 そのOBの中には「合同業界研究会」きっかけで入社いただいた方もいらっしやいます。 引き続き、「合同業界研究会」の開催をお願ひ申し上げます。		○		○	○	○					○		
当社のような道内企業にも条件がマッチすれば、入職希望して頂きたい。インターンシップにも積極的に参加して頂きたいです。	○												
比較的小おとなしい卒業生が多いと感じます。逆に、コツコツやるタイプに感じます。 非常に特化した知識を備えた学生が多いです。弊社内でOBが増え今以上に中心層として活躍して欲しいです		○											○
平素大変お世話になっております。また学内合同説明会にぜひ参加させていただければ幸いです。 今後とも何卒よろしくお願ひいたします。		○								○			
弊社では、基礎学力を有した貴学の学生を高く評価しており、今後とも継続的に採用活動を行っていく所存でございますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。							○				○		
弊社の工事部門において、現在中核でご活躍されている方・将来の部門長を担える方と、大変魅力的です。 是非、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。	○						○						
北海道内の企業に目を向ける学生を増やしてほしいです。	○	○					○				○		
毎年継続して入社して頂いています。 合同研究会の盛り上がり期待しています。				○				○		○			
毎年新卒採用へご協力を賜りありがとうございます。近年では2期連続で採用をさせていただいておりますが、過去の採用と比較しますと全体として非常にレベルが上がってきているものと存じております。 特に幅広い分野に対する好奇心が旺盛であること、素直にいろんなことを吸収する力は、他大学出身の社員と比べて高い傾向がございます。 当社は技術派遣事業を行なっているため、普段間近で社員の働きぶりを目にする機会はないですが、業界トップメーカーの社員と比較しても大いに活躍している話を耳にすることもあることから、レベルの高い学生を迎え入れさせていただいているものと思っております。 引き続き、理工学系技術者の輩出へ御尽力賜れますことをお願ひ申し上げます。				○									
優秀な人材であることを日常から感じ取れます。学力は申し分ないですが、コミュニケーションや社会に適合するには、社会人の強化が社会人早期の段階で苦勞している場面をよくみます。												○	
要望としては、貴学の学生さんを今後も採用していきたいのですが、学生の皆さんがどのような基準(給与、休日、仕事内容など)で企業選びをしているのかが分かれば、当社も参考にしたいと考えております。ご検討いただけると幸いです。		○						○					
理工学部システム理化学科化学生物システムコース出身のある学生さんは、弊社でとても頑張ってくれています。弊社は神奈川県で貴学から近い距離とは言えませんが、優秀な学生さんが継続的に入社していただけたら大変嬉しく思います。 今後ともよろしくお願ひ致します。													○

室蘭工業大学
「令和6年度 企業アンケート」
集計結果報告書 第2版
令和6年11月
編著：一般社団法人日本能率協会
